

2024 年度 研究所事業報告書

研究所名	歴史都市防災研究所
------	-----------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究所の実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどを行い、できるだけわかりやすく記述してください。

なお、2024 年度に採択を受けた研究所重点研究プログラムの詳細な実績報告は、プロジェクト毎に書式 B に記述のうえ提出してください。

1. 研究所全体の研究活動と重点研究プロジェクトの位置づけ

代表的な歴史都市京都に拠点を置く歴史都市防災研究所では、歴史都市における文化財と人々の命を守ることを目的とし、人文・社会科学と理工系を横断した文理融合的な研究体制を独自の強みとし、国際的にも注目される特色ある研究・教育活動を継続している。以下の 2 つのプロジェクトによる活動を通じ、大学院生や若手研究者も含むチームで、文化遺産防災の意義と課題、研究体制のあり方について共有し、研究・教育・社会貢献の融合した活動モデルの実践に努めた。

2. 社会連携を通じた文化遺産防災学の学際的連携ネットワークの強靱化と社会的ネットワークの構築による社会実装

(1) **文理協働の研究体制の再整備**：2024 年度は、能登半島地震の発生、阪神・淡路大震災から 30 年の節目、文化庁の京都移転等を受け、文化遺産防災分野の節目といえる。研究センター設立 20 年を機に、研究体制の再構築を重要課題と位置づけ、コロナ禍により対面での直接的な連携体制の希薄化が課題であり、内部組織やネットワークの強化に取り組んだ。2024 年 1 月の能登半島地震に対し、研究所内にタスクフォースを立ち上げ、研究所として一体感を持って復興支援を継続している。

(2) **学外連携ネットワークの強靱化**：文化遺産防災の社会的意義を発信する取組み強化として、自治体だけでなく企業、附属校の若手にも対象を広げて継続的な発信を行った。実際の災害現場での経験を通して、文化遺産防災分野の重要性と、学外も含めた研究組織間の連携体制の構築が課題として明確になった。地域連携の取り組みとしては、他大学とも連携し、伝統的建造物群保存地区の防災計画策定に向けたコンサルティング業務、企業や自治体との協働調査やヒアリングも実施している。

(3) **若手育成・情報発信**：文化遺産防災の意義や重要性を広めるために、自治体、企業、若い世代に文化遺産防災の取り組みに対する支援の社会的な意義を継続的に発信した。歴史都市防災シンポジウムや、研究所の出前授業やマップコンテストで蓄積された知見は、若い世代に対する防災意識向上の教育ツールとなる。また研究所メンバーの活動エフォートを評価し、若手研修者育成を目的とした院生の海外学術雑誌への論文投稿助成の研究所独自の取り組みを維持した。

3. 国際的なニーズに応える総合的な文化遺産防災への貢献

(1) **オンライン活用による国際研修コースの効率化と知見の共有**：第 18 回の国際研修「災害リスク管理に向けた有形文化遺産と無形文化遺産の関係」を開催し、世界各国から計 17 名が参加し、京都や兵庫での視察、ワークショップ等を通じ、文化遺産の災害危機管理計画策定を目指した。オンラインとオンサイトのハイブリッド形式で講義資料や課題提出等を一元管理する新たな e プラットフォームの構築と、蓄積された高品質な講義教材、研修成果物を教育コンテンツとして国内外の文化遺産関係者、学生等に展開するためのオンラインアーカイブの整備を開始し、新たに 5 本の講義動画を制作した。

(2) **若手研究者のキャリア形成とインターンシップ事業の展開**：文化遺産防災分野の若手支援により、1 名が東京大学着任、2 名の専門研究員により、国際研修事業活性化と研究高度化を図った。学生対象のインターンシップで、2024 年度に 2 名のインターン生が参加。講義・視察・ワークショップへの積極的な参加を通じて、実践的な文化遺産防災学習と国際的な交流の機会を提供した。ユネスコ国内委員会が推進する「ユネスコ研修プログラム」への今後の参加も視野に、学生のキャリア形成を推進した。

(3) **成果の発信と過年度研修生の活躍事例の活用**：国際的な専門家ネットワークとの連携強化のため、2024 年度の研修生による成果の、英文報告書を印刷・配布、研究所 HP 上で公開、7～9 月の研究所での展示、内閣府の「総合知」活用事例への掲載、6 月の UNESCO Chair ウェビナーや、グローバル災害研究機関連合での年次成果発表、過年度の優良事例を集めた書籍が 2023 年に出版され、2024 年 12 月にはペーパーバック版も発行された。またフィリピンの研修生とイコモス・フィリピンによ

る国内研修企画や、コンボ国における動産文化遺産の災害危機管理ガイドラインの策定が進められた。

Ⅱ. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2025 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員協力研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割	氏名	所属	職位
研究所長	吉富 信太	理工学部建築都市デザイン学科	教授
運営委員	村中 亮夫	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	豊田 祐輔	政策科学部政策科学科	准教授
	青柳 憲昌	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	大窪 健之	理工学部環境都市工学科	教授
	大場 修	衣笠総合研究機構	教授
	小川 圭一	理工学部環境都市工学科	教授
	鐘ヶ江 秀彦	政策科学部政策科学科	教授
	河角 直美	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	金 度源	理工学部環境都市工学科	准教授
	寺床 幸雄	文学部人文学科(地域研究学域)	准教授
	花岡 和聖	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	深川 良一	総合科学技術研究機構	招聘教授
	藤本 将光	理工学部環境都市工学科	准教授
	向井 純子	衣笠総合研究機構	准教授
	矢野 桂司	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)	阿部 俊彦	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	泉 知論	理工学部電子情報工学科	教授
	岡井 有佳	理工学部環境都市工学科	教授
	川崎 佑磨	理工学部環境都市工学科	准教授
	神田 孝治	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
	木村 智	理工学部建築都市デザイン学科	講師
	小林 泰三	理工学部環境都市工学科	教授
	桜井 政成	政策科学部政策科学科	教授
	里深 好文	理工学部環境都市工学科	教授
	仲谷 善雄	情報理工学部情報理工学科	教授
	平尾 和洋	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	福水 洋平	理工学部電気電子工学科	准教授
	福山 智子	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
	本間 睦朗	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	宗本 晋作	理工学部建築都市デザイン学科	教授
	持田 泰秀	理工学部建築都市デザイン学科	教授

学内の若手研究者		山田 悟史	理工学部建築都市デザイン学科	准教授
		山本 理佳	文学部人文学科(地域研究学域)	教授
		SAUCEDO Daniel	政策科学部政策科学科	准教授
	① 専門研究員 研究員 初任研究員	王 旻	衣笠総合研究機構	専門研究員
		李 敏	衣笠総合研究機構	専門研究員
	② リサーチアシスタント	王 子豪	文学研究科	博士課程後期課程
		チン シン	理工学研究科	博士課程後期課程
	③ 大学院生	竹中 元弥	理工学研究科	博士課程前期課程
		長谷川 仁悟	理工学研究科	博士課程前期課程
		木村 愛美	理工学研究科	博士課程前期課程
		宮澤 楠子	理工学研究科	博士課程前期課程
		潮田 龍諒	理工学研究科	博士課程前期課程
		渡部 祐輝	理工学研究科	博士課程前期課程
		前田 彩花	理工学研究科	博士課程前期課程
		Yang Shao	理工学研究科	博士課程前期課程
		神原 夏穂	理工学研究科	博士課程前期課程
		喜多村 壮	理工学研究科	博士課程前期課程
		斎藤 准輝	理工学研究科	博士課程前期課程
		坂井 碩紀	理工学研究科	博士課程前期課程
		鈴木 里枝	理工学研究科	博士課程前期課程
		千本 瑞穂	理工学研究科	博士課程前期課程
		西田 彩ら	理工学研究科	博士課程前期課程
		増田 颯人	理工学研究科	博士課程前期課程
		松原 大樹	理工学研究科	博士課程前期課程
		鷺野 壮真	理工学研究科	博士課程前期課程
		伊藤 光題	理工学研究科	博士課程前期課程
		井上 拓磨	理工学研究科	博士課程前期課程
		大西 理斗	理工学研究科	博士課程前期課程
		岡本 侑也	理工学研究科	博士課程前期課程
		小磯 佑真	理工学研究科	博士課程前期課程
		住田 琴音	理工学研究科	博士課程前期課程
		村上 由希子	理工学研究科	博士課程前期課程
		近藤 一秀	理工学研究科	博士課程前期課程
		中瀬 翔吾	理工学研究科	博士課程前期課程
		山田 晃愛	理工学研究科	博士課程前期課程
		上村 裕弥	理工学研究科	博士課程前期課程
		竹内 理登	理工学研究科	博士課程前期課程
		坂本 佑太	理工学研究科	博士課程前期課程
		篠岡 果	理工学研究科	博士課程前期課程
		藤田 みつき	理工学研究科	博士課程前期課程
		松原 実咲	理工学研究科	博士課程前期課程

	森島 明日香	理工学研究科	博士課程前期課程
	森田 耕平	理工学研究科	博士課程前期課程
	沙 暁蕾	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹中 元弥	理工学研究科	博士課程前期課程
	長谷川 仁悟	理工学研究科	博士課程前期課程
	石坂 陽太	理工学研究科	博士課程前期課程
	高尾 宗志	理工学研究科	博士課程前期課程
	中村 達也	理工学研究科	博士課程前期課程
	大島 康輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	大知 俊介	理工学研究科	博士課程前期課程
	榊原 颯輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	妹尾 尚英	理工学研究科	博士課程前期課程
	安田 大輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	大田 勇樹	理工学研究科	博士課程前期課程
	長居 晃希	理工学研究科	博士課程前期課程
	西川 杏紗菜	理工学研究科	博士課程前期課程
	原 杏希子	理工学研究科	博士課程前期課程
	水野 真希	理工学研究科	博士課程前期課程
	分部 颯太	理工学研究科	博士課程前期課程
	李 睿原	理工学研究科	博士課程前期課程
	井川 快斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	井上 斐文	理工学研究科	博士課程前期課程
	KANG Taelock	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 康央	理工学研究科	博士課程前期課程
	猪口 朝加	理工学研究科	博士課程前期課程
	村松 凌太	理工学研究科	博士課程前期課程
	山田 和輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	伊藤 由偉	理工学研究科	博士課程前期課程
	下村 朋世	理工学研究科	博士課程前期課程
	松井 舜	理工学研究科	博士課程前期課程
	宮原 睦生	理工学研究科	博士課程前期課程
	梁 瑤鈺	理工学研究科	博士課程前期課程
	鄭 斯元	理工学研究科	博士課程前期課程
	渡邊 隆之助	理工学研究科	博士課程前期課程
	東村 天	理工学研究科	博士課程前期課程
	清水 優真	理工学研究科	博士課程前期課程
	TENG Hongfei	理工学研究科	博士課程前期課程
	植松 蓮	理工学研究科	博士課程前期課程
	早川 岬希	理工学研究科	博士課程前期課程
	平山 達也	理工学研究科	博士課程前期課程
	広中 翔	理工学研究科	博士課程前期課程
	古山 大成	理工学研究科	博士課程前期課程

	本城 真輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	KIM Joonyoung	理工学研究科	博士課程前期課程
	大島 佳奈子	理工学研究科	博士課程前期課程
	大本 和尚	理工学研究科	博士課程前期課程
	米光 陸	理工学研究科	博士課程前期課程
	竹下 步夢	理工学研究科	博士課程前期課程
	濱 大智	理工学研究科	博士課程前期課程
	大松 瞬	理工学研究科	博士課程前期課程
	池田 拓樹	理工学研究科	博士課程前期課程
	馬越 康輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	大西 亮輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	小畑 智皓	理工学研究科	博士課程前期課程
	杉本 伊央理	理工学研究科	博士課程前期課程
	松木 咲依	理工学研究科	博士課程前期課程
	森本 啓太	理工学研究科	博士課程前期課程
	行藤 航太朗	理工学研究科	博士課程前期課程
	出原 若奈	理工学研究科	博士課程前期課程
	角田 有優	理工学研究科	博士課程前期課程
	栗本 麻鈴	理工学研究科	博士課程前期課程
	鈴木 雄太	理工学研究科	博士課程前期課程
	前田 里彩	理工学研究科	博士課程前期課程
	望月 俊男	理工学研究科	博士課程前期課程
	ZHANG Minghao	理工学研究科	博士課程前期課程
	明石 夏林	理工学研究科	博士課程前期課程
	島本 匠	理工学研究科	博士課程前期課程
	石川 勝大	理工学研究科	博士課程前期課程
	上西 那智	理工学研究科	博士課程前期課程
	江間 太輝	理工学研究科	博士課程前期課程
	河村 優作	理工学研究科	博士課程前期課程
	浦崎 剛	理工学研究科	博士課程前期課程
	岡田 雅哉	理工学研究科	博士課程前期課程
	林 晃祐	理工学研究科	博士課程前期課程
	横田 航大	理工学研究科	博士課程前期課程
	鹿島 翔太	理工学研究科	博士課程前期課程
	足立 奈緒	理工学研究科	博士課程前期課程
	慶野 朱香	理工学研究科	博士課程前期課程
	弘中 希	理工学研究科	博士課程前期課程
	村上 翔一	理工学研究科	博士課程前期課程
	吉田 蒼	理工学研究科	博士課程前期課程
	楊 詩琦	理工学研究科	博士課程前期課程
	飯古 圭志史	理工学研究科	博士課程前期課程
	金盛 悠佑	理工学研究科	博士課程前期課程

	小森園 旺彦	理工学研究科	博士課程前期課程
	鮫島 隆貴	理工学研究科	博士課程前期課程
	本田 明星斗	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 遼	理工学研究科	博士課程前期課程
	小藤 由瞳	理工学研究科	博士課程前期課程
	福島 研人	理工学研究科	博士課程前期課程
	岩本 昇真	理工学研究科	博士課程前期課程
	小林 祥太朗	理工学研究科	博士課程前期課程
	谷尾 優希	理工学研究科	博士課程前期課程
	茶元 俊輔	理工学研究科	博士課程前期課程
	山本 祥太	理工学研究科	博士課程前期課程
	小原 愛美	理工学研究科	博士課程前期課程
	CHAWANID Tanavara	政策科学研究科	博士課程前期課程
	鷗鵜 遼	政策科学研究科	博士課程前期課程
	WANG Wenqiang	政策科学研究科	博士課程前期課程
	DUAN Ke	政策科学研究科	博士課程前期課程
	PRASONGCHATCHAI Pornchai	政策科学研究科	博士課程前期課程
	ROY Ksheeten	政策科学研究科	博士課程前期課程
	SEPADAWATI Hidayah	政策科学研究科	博士課程前期課程
	SANDRINA Fera	政策科学研究科	博士課程前期課程
	ESTRADA HERNANDEZ Brandon Eduardo	政策科学研究科	博士課程前期課程
	花岡 龍	政策科学研究科	博士課程前期課程
	田畑 勇也	文学研究科	博士課程前期課程
	阿部 生	文学研究科	博士課程前期課程
	麦谷 雄飛	文学研究科	博士課程前期課程
	田代 優都	文学研究科	博士課程前期課程
	井上 萌来	文学研究科	博士課程前期課程
	石松 智子	文学研究科	博士課程前期課程
	北岡 沙映	文学研究科	博士課程前期課程
	野村 奏子	文学研究科	博士課程前期課程
	Hojin Kim	理工学研究科	博士課程後期課程
	Gledis Gjata	理工学研究科	博士課程後期課程
	WANG Baichuan(王 百川)	理工学研究科	博士課程後期課程
	大西 功	理工学研究科	博士課程後期課程
	Hamid Nikzad	理工学研究科	博士課程後期課程
	HAQDAD Khwaja Mir Tamim	理工学研究科	博士課程後期課程
	高馬 太一	理工学研究科	博士課程後期課程
	清水 泰有	政策科学研究科	博士課程後期課程

		留野 僚也	政策科学研究科	博士課程後期課程
	④ 日本学術振興会特別 研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (補助研究員、非常勤講師、研究 生、研修生等)	林 祐妃	衣笠総合研究機構	補助研究員	
客員協力研究員	土岐 憲三	衣笠総合研究機構	特別研究フェロー	
	松浦 晃一郎	株式会社パソナグループ	特別顧問	
	林 春男	国立研究開発法人防災科学技術 研究所	前理事長	
	狭間 恵三子	大阪商業大学 公共学部	教授	
	星野 安治	国立文化財機構 奈良文化財研究 所 年代学研究	室長	
	武田 史朗	千葉大学大学院 園芸学研究院	教授	
	樋本 圭佑	国土交通省 国土技術政策総合研 究所	主任研究官	
	高橋 暁	ユネスコ・アラブ諸国科学技術地 域事業所	文化担当官	
	福山 大典	株式会社アイエス工業所	取締役	
	田中 哮義	京都大学	名誉教授	
	森 清顕	清水寺	執事補	
	古川 愛子	京都大学大学院 工学研究科都市 社会工学専攻	准教授	
	高松 正彦	一般財団法人日本緑化センター 緑化	事業部長	
	森下 雄治	森下漆器株式会社	代表取締役	
	大岡 優	都城工業高等専門学校 建築学科	准教授	
	林 倫子	関西大学 環境都市工学部 都市 システム工学科	准教授	
	JIGYASU, Rohit	Urban Heritage, Climate Change and Disaster Risk Management Programme Unit, ICCROM	Project Manager,	
	益田 兼房	衣笠総合研究機構	客員研究員	
	石田 優子	近畿大学工業高等専門学校総合 システム工学科	教授	
	伊藤 真恵	株式会社横浜コンサルティングフ ァーム	ゼネラルマネー ジャー	
	AYDIN, Telat	Mita Corporation Bilişim Teknolojileri Dan. ve Dış Tic. A.Ş.	取締役	
	山崎 文雄	千葉大学	名誉教授	

	DENPAIBOON, Chaweewan	チュラロンコン大学 建築学部	准教授
	石橋 健一	愛知学院大学 総合政策学部	教授
	梶 秀樹	一般社団法人 地域防災支援協会 筑波大学	理事/名誉教授
	神田 隆男	神田オフィス	代表
	大槻 知史	高知大学 総合科学系地域協働教育学部 高知大学 防災推進センター危機管理分野	准教授/ 准教授
	城月 雅大	名古屋外国語大学 現代国際学部	准教授
	和泉 潤	衣笠総合研究機構	客員協力研究員
	RIZZI, Paola	サッサリ大学 都市建築デザイン学部	教授
	宮崎 洋司	株式会社 プラス社会計画センター	所長
	丸岡 稔典	四天王寺大学	准教授
	村尾 修	東北大学 災害科学国際研究所 地域・都市再生研究部門 国際防災戦略研究分野	教授
	崔 明姫	豊橋技術科学大学 都市システム学系	助教
	石原 凌河	龍谷大学 政策学部	准教授
	冷泉 為人	公益財団法人冷泉家時雨亭文庫	理事長
	壽崎 かすみ	龍谷大学 国際学部	准教授
	酒井 宏平	城西大学 現代政策学部	助教
	大橋 弘明	立命館アジア太平洋大学 サステイナビリティ観光学部	准教授
	小野 聡	千葉商科大学商経学部	専任講師
	川道 美枝子	関西野生生物研究所	代表
	岡田 篤正	京都大学	名誉教授
	植村 善博	佛教大学	名誉教授
	大邑 潤三	東京大学地震研究所	助教
	谷端 郷	北海学園大学 人文学部 日本文化学科	講師
	岩本 葉子	京都芸術大学 非常勤講師/京都外国語短期大学	非常勤講師
	松田 法子	京都府立大学大学院	准教授
	前田一馬	京都橘大学経済学部	専任講師
	神戸 啓	うさぎのアトリエぴょんぴょこぴょん 京 先斗町まちづくり協議会	代表/副会長兼事務局長
	松田 彰	京都市市役所	嘱託職員

	秋尾 沙戸子	ジャーナリスト、作家	
	安田 勝	京都府土地開発公社	職員
	Minguez Garcia Barbara	前ユネスコと世界銀行コンサルタント	客員協力研究員
	米島 万有子	熊本大学大学院 人文社会科学部 研究部	准教授
	島本 多敬	琵琶湖博物館	学芸員
	手塚 薫	北海学園大学 人文学部	教授
	佐藤 貴史	北海学園大学 人文学部	教授
	宇佐美 智之	京都芸術大学芸術学部歴史遺産学科	講師
	浅妻 裕	北海学園大学経済学部	教授
	夏目宗幸	徳島大学大学院社会産業理工学部研究部社会総合科学域	准教授
	青木 和人	福井県立大学地域経済研究所	教授
	矢尾田 清幸	沖縄県土地改良事業団体連合会 参事兼総務	企画課長
	高木 良枝	京都市指定文化財長江家住宅	学芸員
	桐村 喬	京都産業大学	准教授
	高橋 彰	大阪大学サイバーメディアセンター	特任助教(常勤)
	山本 由美子	コルゲート大学 教養学部	講師
	中谷 友樹	東北大学大学院 環境科学研究科	教授
	安本 晋也	中部大学 中部高等学術研究所	講師
	鈴木 祥之	京都大学	名誉教授
	棚橋 秀光	TASS デザイン研究室 (TASS Design Institute)	主宰
	佐藤 英佑	株式会社佐藤建築設計	代表取締役
	中野 元太	京都大学防災研究所巨大災害研究センター	助教
	藤井 健史	金沢工業大学建築学部建築学科	講師
	北本 英里子	神奈川工科大学情報学部情報学科	准教授
	戸田 堅一郎	株式会社ジオ・フォレスト	代表取締役
	白石 陽子	一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構	代表理事
	宮崎 彩	東京大学教養学部	特任准教授
	Shakya_Lata	立命館大学 衣笠総合研究機構 歴史都市防災研究所	プロジェクト研究員
その他の学外者			

研究所構成員	計 275 名 (うち学内の若手研究者 計 162 名)		

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください。(2025 年 3 月 31 日時点)
また、書式 B の研究業績欄との二重記載をお願いいたします。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	阿部 俊彦	新建築別冊 The LINEss RIA 「時間をかけて復興していくこと」	共著	2024 年 8 月	新建築社	阿部俊彦, 長谷川浩己, 小野田泰明, 村山寛, 増見収太	
2	阿部 俊彦	造景 2024「滋賀県／琵琶湖でつながる景観づくり」	共著	2024 年 9 月	建築資料研究社	阿部俊彦	
3	大場 修	城下町姫路と播磨	共著	2024 年 10 月	神戸新聞総合出版センター		
4	川崎 佑磨	コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本 ー第 7 次(2024 年)改訂版ー	共著	2024 年	土木学会関西支部		5 章
5	川崎 佑磨	建設材料実験	共著	2024 年	日本材料学会		10 章
6	川崎 佑磨	地震災害軽減のためのダメージフリー構造技術に関する調査研究小委員会活動成果報告書	共著	2024 年	土木学会地震工学委員会		4 章
7	寺床 幸雄	農業集落の諸形態	分担執筆	2024 年 10 月	丸善出版経済地理学事典	寺床幸雄	
8	豊田 祐輔	Applying Gaming and Simulation to Community-based Disaster Risk Management in “Transferring Gaming and Simulation Experience to the Real World”	共著	2025 年 2 月	Springer	Toyoda Y, Tomeno R and Kanegae H (eds. Kikkawa To, Kriz W, Sugiura J and Heeswijk M)	pp. 135-150.
9	福水 洋平	悪意の見える化とリスク・マネジメント～不正の芽を摘むテクノロジーと組織運営の改善～	共著	2024 年 8 月	エヌ・ティー・エス	(監修) 八田進二、小宮信夫 (著) 福水洋平ほか	94-101
10	矢野 桂司	文化資源のデジタル化・公開手法の開発：立命館アート・リサーチセンターの運用と公開	分担執筆	2024 年 9 月	雄山閣野口淳・村野正景編『博物館 DX と次世代考古学』	矢野桂司・赤間亮	
11	山本 理佳	ツーリズム・リサーチメソッド入門ー「観光」を考えるための道案内ー【担当：	分担執筆	2024 年 4 月	法律文化社	遠藤英樹編著	9-20

		「インタビュー法—観光の「多様な声」を聴く—」】					
12	青木和人	ウィキペディアタウンハンドブック：図書館・自治体・まちおこし関係者必携	単著	2025 年 12 月	文学通信	青木和人	PP. 1-134
13	石原凌河	「災間」の時代を生き抜く：生き抜くための処方箋としての「地域レジリエンス」(『市民のための政策学』所収)	共著	2025 年 3 月	晃洋書房	只友景士、阿部大輔、清水万由子、南島和久編著	PP. 90~95
14	小野聡	予測社会の風土論—「不確実性」への関心は人間に何をもたらすか	単著	2025 年 3 月	京都大学学術出版会 寺田 匡宏・編『環境人間学と地域 フューチャー風土 ひと、いきもの、思考する機械が共存する未来』	寺田 匡宏	PP. 535 ~ 555
15	小野聡	「予測社会」における防災学習の場としての大学	単著	2025 年 3 月	CUC サポート 吉竹 弘行・編『安全・安心な都市・地域づくり』	吉竹 弘行	PP. 80~91
16	桐村 喬	ArcGIS Pro ではじめる地理空間データ分析	単著	2024 年 4 月	古今書院		
17	桐村 喬	基礎から学ぶ GIS・地理空間情報	共著	2024 年 9 月	古今書院	上杉昌也、米島万有子、相 尚寿、鈴木重雄	PP. i-ii・17-22・63-68・78-94・129
18	丸岡稔典	「障害理解」再考 新刊他者との協働に向けて	単著	2025 年 3 月	晃洋書房	丸岡稔典	
19	狭間恵三子	『地域を変える文化の公共性—住民、企業、政府の役割—』	編著	2025 年 3 月	白桃書房	伊木稔	PP. 1~165 PP 213 ~ 215
20	Lata Shakya	Role of Intangible Cultural Heritage for Disaster Resilient Historic Cities-Case Studies from Japan and Nepal	単 著 (書籍章)	2024 年 12 月	<i>Sustainable Management of Historic Settlements in Asia.</i> Sustainable Development Goals Series, Springer, Singapore.	N. Jigyasu, A.K. Sharma (編者)	pp. 317-334 (第 18 章担当)
21	Shakya, L., Miyazaki, A., Li, M., Kim, D. and Jigyasu, R., eds.	<i>Proceedings of UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM.</i>	共著	2024 年	立命館大学	Shakya, L., Miyazaki, A., Li, M., Kim, D. and Jigyasu, R., eds.	

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	青柳 憲昌	亀岡市旧城下町における日蓮宗寺院仏堂の建築的特徴―近世日蓮宗・浄土宗の方丈型本堂に関する考察―	共著	2024 年 6 月	『日本建築学会近畿支部研究報告集 計画系』2024 年 6 月	北村奈都樹・青柳憲昌”	pp. 441-444	査読無
2	阿部 俊彦	都市空間におけるスポーツの導入可能性に関する研究 ―滋賀県宮都市公園びわこ文化公園を事例として―	共著	2024 年 4 月	スポーツ健康科学総合研究所紀要創刊号	阿部俊彦・他 2 名	pp11-16	査読無
3	阿部 俊彦	Park-PFI 制度を導入した都市公園における民間事業者と地域団体の連携のあり方に関する研究	共著	2024 年 4 月	スポーツ健康科学総合研究所紀要創刊号	阿部俊彦・他 1 名	pp17-23	査読無
4	阿部 俊彦	流域空間デザインに関する学生ワークショップ記録のテキストマイニングによる分析 ～亀岡市における流域治水時代のまちづくり国際ワークショップを対象として～	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18 (論文)	焦英楠, 武田史朗, 山口敬太, 阿部俊彦, 花岡和聖	pp69-76	査読有
5	阿部 俊彦	防潮堤計画の合意形成プロセスと漁港の空間変化に関する研究 - 気仙沼市管理漁港を対象として -	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18 (論文)	阿部俊彦, 廣瀬憲吾, 山下博美”	pp77-84	査読有
6	阿部 俊彦	湖岸堤が形成する景観の印象の多様性に関する研究―琵琶湖東岸区域を対象として―	共著	2024 年 8 月	土木学会論文集 80(8)	阿部俊彦, 傍島靖葉, 菅野圭祐, 武田史朗	pp1-9	査読有
7	阿部 俊彦	住民主体の復興まちづくりを促す条件と課題	単著	2024 年 9 月	都市住宅学会 都市住宅学 (117, 118 号)	阿部俊彦	pp11-15	査読無
8	阿部 俊彦	Creating Walkable City through the Tsunami Disaster Recovery Process	単著	2024 年 11 月	”The Association of Collegiate Schools of Planning, 2024 Annual Conference in Seattle (full paper)	Toshihiko Abe		査読有
9	阿部 俊彦	地方小都市の中心市街地が抱える課題	単著	2024 年 11 月	新建築家技術者集団 建築とまちづくり (546)	阿部俊彦	pp18-22	査読無
10	伊藤 真一	携帯型ミニディスクインフィルトロメータを用いた透水試験の計測データに基づく不飽和浸透特性パラメータの推定方法の提案	共著	2024 年 7 月	土木学会論文集 80(6)	伊藤真一, 酒匂一成	23-00196	査読有
11	伊藤 真一	深層学習による微地形表現図に基づく道	共著	2024 年 8 月	第 12 回土砂災害に関するシンポ	伊藤真一, 西村	55-60	査読有

		路斜面災害リスク箇所抽出モデルの構築			ジウム論文集 12	修一, 上原 大二郎, 王寺秀介, 酒匂一成		
12	伊藤 真一	豪雨時の盛土のり面安定性評価におけるデジタルツインの有用性	共著	2024 年 8 月	第 12 回土砂災害に関するシンポジウム論文集 12	小 田 和広, 小泉圭吾, 伊藤真一, 乾徹	67-72	査読有
13	伊藤 真一	粒径が比較的均一な砂質土を用いた不飽和土の保水・浸透・蒸発特性に関する一考察	共著	2024 年 8 月	第 12 回土砂災害に関するシンポジウム論文集 12	軸 屋 雄太, 酒匂一成, 伊藤真一, 昌 本 拓也, 中島亮輔, 鈴木素之	263-268	査読有
14	伊藤 真一	UAV を活用した可視光画像解析による播種工法面の検査基準測定に関する一考察	共著	2024 年 8 月	第 12 回土砂災害に関するシンポジウム論文集 12	田 中 一字, 昌本拓也, 酒匂一成, 伊 藤 真一, 軸屋雄太, 中島亮輔	191-196	査読有
15	伊藤 真一	Inverse analysis for estimating geotechnical parameters using physics-informed neural networks	共著	2024 年 12 月	Soils and Foundations 64(6)	Shinichi Ito, Ryus ei Fukunaga, Kazunari Sako	101533 - 101533	査読有
16	大窪 健之	Possibility of Countermeasures for Visitors' Evacuation by Utilization of Tourist Resources - For Emergency Evacuation Spaces in Tourist Attraction Areas of Historic City Kyoto	共著	2024 年 6 月	"Abitare la Terra Quaderni 10, XXII International Study Forum WORLD HERITAGE and DWELLING ON SPACE - World Heritage and Cities in Emergencies, ISBN: 9788849251371 (10)	Takeyuki Okubo, Miyu Nakahira and Dowon Kim	36-38	査読有
17	大窪 健之	天水バケツの日常利用促進と設置に向けた課題の抽出 ～多様な主体へのヒアリング調査とワークショップを通じた検証～	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	弘中希, 金度源, 大窪健之	115-122	査読有
18	大窪 健之	地震火災対策としての既存の防災資源と水路の活用に関する研究—京都市・御室学区を対象とした延焼シミュレーション—	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	金度源, 佐野杏佳, 大窪健之	123-130	査読有
19	大窪 健之	歴史地区における地震火災を想定した消火環境整備の提案～出石重伝建地区での	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	大窪健之, 竹内基紀, 金度源	139-146	査読有

		住民と消防の活動を 支えるために～						
20	大窪 健之	Research on Functional Expansion and Study on Information Delivery Policy for Developing the “Local Disaster Information System” in Kaya Preservation District”	共著	2024 年 9 月	”Loughborough University UK, Smart Informatics and Multi- Hazard Reduction (SIMR) 2024, オ ンライン出版	Takeyuki Okubo , Wataru Iwai , Dowon Kim and MichikoH ayashi		査読有
21	大場 修	今庄宿重要伝統的建 造物群保存地区にお ける町並み分析及び 防災力向上に向けた 予備的考察	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論 文集 (18)	平尾和洋 饗庭優樹	107- 114	査読有
22	大場 修	ワクノウチ民家にお ける格式性一玄関は なぜ座敷に付かない のかー	単著	2024 年 8 月	砺波市立砺波散 居村地域研究所 砺波散居村地域 研究所 研究紀要 (41)	大場 修	6-16	査読無
23	岡井 有佳	パリの人中心のまち づくり	単著	2024 年 5 月	公益財団法人都 市づくりパブリ ックデザインセ ンター都市+デザ イン (42)	岡井有佳	2-6	査読無
24	岡井 有佳	重要伝統的建造物群 保存地区の水害リス クの実態と対策に関 する研究一矢掛、津 山城東、塩田津を対 象として一	共著	2024 年 7 月	立命館大学歴史 都市防災研究所 歴史都市防災論 文集 18	小藤由瞳 ・大田勇 樹・吉田 隼斗・岡 井有佳・ 馬場美智 子	63-68	査読有
25	岡井 有佳	バッファゾーンにお ける歴史的町並みの 景観規制に関する研 究	共著	2024 年 7 月	公益社団法人 日 本都市計画学会 日本都市計画学 会 関西支部研 究発表会講演概 要集 22	小 藤 由 瞳, 岡井 有佳, 麻 生美希	77-80	査読無
26	岡井 有佳	まちづくり X ルー ル:京都市地域景観 づくり協議会制度に 着目して	単著	2024 年 9 月	日本建築協会建 築と社会 (105)	岡井有佳	14-17	査読無
27	岡井 有佳	水害リスクを考慮し た居住誘導区域の設 定と防災指針の策定 に関する研究	共著	2024 年 10 月	公益社団法人 日 本都市計画学会 日本都市計画学 会都市計画論文 集 59(3)	馬場美智 子・岡井 有佳・喜 多孝輔	900- 907	査読有
28	小川 圭一	日本の都市部におけ るロードダイエットの 適用条件に関する	共著	2024 年 8 月	第 44 回交通工学 研究発表会論文 集	小川圭一 住若高章	pp. 503 -508	査読有

		研究 ―京都市内の 4 車線道路を対象と して―						
29	鐘ヶ江秀彦	A Study on Disaster Risk Management Institutions and Policies for the Preservation of Cultural Heritage Sites in Central America and the Dominican Republic: Challenges and Opportunities for the CAIS Region	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論 文集 Vol. 18	Estrada Hernande z, Brando n Eduardo、 <u>Hidehiko Kanegae</u>	PP167- 174	査読無
30	鐘ヶ江秀彦	Formation of Modified Flood Resilience Index for Cultural Heritage City	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論 文集 Vol. 18	Tanavara Chawanid , <u>Hidehik o Kanegae</u>	PP163- 166	査読無
31	川崎 佑磨	IoT センシングによる橋梁の積層ゴム支承と RC 床版を対象とした長期モニタリング	共著	2024 年	土木学会論文集 特集号（地震工 学）， Vol. 81， No. 13	小西優真 ・川崎佑 磨・井上 和真・山 元沙貴・ 浅見健斗 ・小林皆 也	P23- 13141	査読有
32	川崎 佑磨	地震模擬波形を複数 回与えたゴム支承の AE 法による内部損 傷評価と残存耐震性 能の比較	共著	2024 年	土木学会論文集 特集号（地震工 学）， Vol. 81， No. 13	室田亮馬 ・川崎佑 磨・井上 和真・姫 野岳彦・ 後智貴・ 井澤亮介	P23- 13146	査読有
33	川崎 佑磨	機械学習を活用した ゴム支承の内部損傷 検知に関する研究	共著	2024 年	日本地震工学会 論文集，第 24 卷， 第 4 号（特集号）	森川康平 ・川崎佑 磨・野村 泰稔・伊 津野和行	pp. 26- 35	査読有
34	川崎 佑磨	Green Concrete Development: Evidence from Waste Concrete and Hemicellulose Utilization	共著	2024 年	Open Journal of Civil Engineering， Vol. 14, No. 4	Ejazulha q Rahimi, Yuma Kawasaki , Ayane Yui, Yuta Yamachi	pp. 587 -601	査読有
35	川崎 佑磨	電気炉酸化スラグ粗 骨材を全量使用した コンクリートの各種 特性とライフサイク ルによる環境影響評 価	共著	2024 年	コンクリート工 学年次論文集， Vol. 46, No. 1	吉岡優志 郎・川崎 佑磨・武 山健太郎 ・光斎翔 貴	pp. 136 3-1368	査読有
36	川崎 佑磨	赤外線カメラ搭載ド ローンを活用したコ ンクリート法面の欠 陥検出に関する研究	共著	2024 年	コンクリート工 学年次論文集， Vol. 46, No. 1	太田龍之 介・川崎 佑磨・橋 本康平・ 濱口貴仁	pp. 180 7-1812	査読有
37	川崎 佑磨	高強度コンクリートの練混ぜ過程における条件およびアルミネート相の増量がス	共著	2024 年	コンクリート工 学年次論文集， Vol. 46, No. 1	小林皆也 ・川崎佑 磨・坂本 恭裕・福	pp. 955 -960	査読有

		ランプフローに与える影響				山智子		
38	川崎 佑磨	Damage evaluation by AE method after loading earthquake-simulated waveforms on laminated rubber bearings	共著	2024 年	Proceedings of 18th WCEE	R. Murota, Y. Kawasaki, K. Inoue		査読有
39	川崎 佑磨	Strain detection by IoT sensing on solar power for remote damage monitoring after earthquakes	共著	2024 年	Proceedings of 18th WCEE	Y. Konishi, Y. Kawasaki, K. Inoue, S. Yamamoto		査読有
40	川崎 佑磨	Influence of Flocculation with Dry-Mixing on Slump Flow of High-Strength Concrete	共著	2024 年	Journal of Frontiers in Built Environment, Vol. 10	Yasuhiro SAKAMOTO, Tomoko FUKUYAMA, Tomoya KOBAYASHI, Yuma KAWASAKI		査読有
41	河角 直美	一九五〇年代沖縄のスクラップ・ブームと地域変容—馬天港の場合—	単著	2025 年 1 月	立命館大学人文学会, 立命館文学, 692 号	河角直美		査読無
42	神田 孝治	アッセンブリッジのレンズを通して見るツーリズムとジェンダー—伊勢志摩地域の海女を事例とした考察	単著	2024 年 10 月	観光学評論 12(2)	神田孝治	155-169	査読有
43	金 度源	地震火災対策としての既存の防災資源と水路の活用に関する研究—京都市・御室学区を対象とした延焼シミュレーション—	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 18	金度源・佐野杏佳・大窪健之	123-130	査読有
44	金 度源	天水バケツの日常利用促進と設置に向けた課題の抽出～多様な主体へのヒアリング調査とワークショップを通じた検証～	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 18	弘中希・金度源・大窪健之	115-122	査読有
45	金 度源	歴史地区における地震火災を想定した消火環境整備の提案：出石重伝建地区での住民と消防の活動を支えるために	共著	2024 年 8 月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 18	大窪健之・竹内基起・金度源	139-146	査読有
46	金 度源	大阪府富田林市寺内町における延焼リスク分析と自然水利を用いた火災対策に関する研究	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集 18	浦崎剛・大窪健之・金度源	199-206	査読無
47	金 度源	場の提供型マルシェによる地域創生の副次的効果に関する研究—滋賀県大津市と草津市での会場形態が違う 4 つのマルシェを対象とした意識	共著	2024 年 10 月	日本都市計画学会都市計画論文集 59(3)	村上 翔一・金度源・大窪健之	1581-1588	査読有

		調査-						
48	木村 智	ピエール・ルイジ・ネルヴィの帝国のアーチにおける古代ローマ建築の解釈と構法的表現	共著	2024 年 6 月	日本建築学会計画系論文集 89 (820)	木村智・小見山陽介・木村俊明	1207-1214	査読有
49	木村 智	街路評価における歩行意欲向上を目的とした小さな風景と潜在的危険の有効性—滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きを通じて—	共著	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集 第 64 号	泉雄大・木村智・寶珍宏元	245-248	査読無
50	木村 智	「住みほどこ」の観点から行う空き家解体に関する基礎的研究	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 18”	木村智・清水優真・大場修	195-198	査読無
51	木村 智	街路評価における「小さな風景」の内容と位置の関係 — 滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きワークショップの分析 その 1—	共著	2024 年 7 月	日本建築学会学術講演梗概集	寶珍宏元・澤俊輔・木村智	521-522	査読無
52	木村 智	街路評価における「小さな風景」の内容と位置の関係 — 滋賀県草津市玉川学区を対象としたまち歩きワークショップの分析 その 2—	共著	2024 年 7 月	日本建築学会学術講演梗概集	澤俊輔・寶珍宏元・木村智	523-524	査読無
53	木村 智	磯崎新の见えない都市に関する言説について 超都市をめざして	共著	2024 年 7 月	日本建築学会学術講演梗概集	船越祐・木村智	865-866	査読無
54	桜井 政成	デューイ理論における体験型福祉教育へ示唆する命題の特定と検証:「経験」・「反省」 概念への着目から	単著	2024 年	日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要 42	桜井政成	32-45	査読有
55	桜井 政成	SNS で本棚を見せる人たちネット空間での新たな読書交流形態の特徴と意図の分析	単著	2024 年	読書科学 65(1)	桜井政成, 入江拓実	1-15	査読有
56	桜井 政成	地域福祉における社会的企業の役割と可能性	単著	2024 年 4 月	鉄道弘済会社会福祉研究 (149)、	桜井政成	2-8	査読無
57	里深 好文	”Feasibility of Using Permeable Block Sabo Dams Incorporating Breakwater Structures for Volcanic Sediment Management”	共著	2024 年 4 月	砂防学会 International Journal of Erosion Control Engineering, 17(2)	Norio HARADA, Masamitsu FUJIMOTO, Yoshifumi SATOFUKA, Takahisa MIZUYAMA	27-34	査読有
58	里深 好文	”A Proposal for Sediment Control Countermeasures in	共著	2024 年 4 月	Water2024, 16(9)	Norio Harada, Yoshifum	1197-1209	査読有

		Non-Flowing Mountain Streams				i Satofuka and Takahisa Mizuyama		
59	豊田 祐輔	ゲーミング・シミュレーションによる社会関係資本発露に関する研究成果に基づいたコミュニティ防災研究の研究	単著	2024 年 7 月	科学技術融合振興財団 (FOST) FOST 設立 30 周年記念論文集	豊田祐輔	60-65	査読無
60	豊田 祐輔	Climate Resilience Action to policy: Embodied Community Based Climate Risk Resilience (CBCRR) in Drought Prone Community in Thailand , s Economic Corridor	共著	2024 年 11 月	Climate Policy (Taylor & Francis)	Tanwattana Puntita and Toyoda Yusuke	1-18	査読有
61	花岡 和聖	"Can heterolocalism explain the residential patterns of small populations of foreigners in Japan? The cases of Afghans, Laotians, Bolivians and Turks	共著	2024 年 7 月	Population, Space and Place	Takeshita, S., Hanakawa, K., & Ishikawa, Y	e2813	査読有
62	平尾 和洋	今庄宿重要伝統的建造物群保存地区における町並み分析及び防災力向上に向けた予備的考察	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 vol. 18	平尾和洋 饗庭優樹 大場修	107-114	査読有
63	福水 洋平	"Custom Anchorless Object Detection Model for 3D Synthetic Traffic Sign Board Dataset with Depth Estimation and Text Character Extraction	共著	2024 年 7 月	Journal of Applied Sciences 14(14)	Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu	6352	査読有
64	福水 洋平	Semi-permanent 2D Porous Code for Embedding into Various Building Materials	共著	2024 年 9 月	Journal of Signal Processing28(5)	Kentaro Kimura, Toshiki Kuragasaki, Asuka Ohashi, Takakuni Douseki, Yohei Fukumizu	223-232	査読有
65	福水 洋平	Porous Code: 穴加工面積比率を低減した目立ちにくい汎用 2D コードの提案	共著	2024 年 9 月	Journal of Signal Processing28(5)	木村健太郎、倉ヶ崎俊輝、道関隆国、福水洋平	233-247	査読有
66	福水 洋平	Wireless charging scheme for	共著	2024 年 10 月	Transactions of The Japan	Yoshifumi Yoshida	E23-011	査読有

		intraoral sensing system with 2.45-GHz semi-electrostatic field power transfer			Institute of Electronics Packaging 17”	FumiyaNi shimura, Ayano Kamitani , HisashiN ishikawa , Ryosuke Isogami, Rumi Shiotsu, Koutaro Maki, Takakuni Douseki, and Yohei Fukumizu	-1-E23-011-15”	
67	福水 洋平	Learning Geometrical Temporal Features from Pose Estimation and Object Detection for Driver Monitoring System Using LSTM	共著	2025 年 3 月	Journal of Signal Processing 29(2)	”Rahul Vijay Soans and Yohei Fukumizu	27-36	査読有
68	福水 洋平	Investigation of a Deep Learning Models for Puddle Detection	共同	2025 年 3 月	”Proceedings RISP International Workshop on Nonlinear Circuits, Communications and Signal Processing 2025	Kazuya Monden, Yukinori Okamura, Yuki Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi and Yohei Fukumizu		査読有
69	福山 智子	高強度コンクリートの練混ぜ過程における条件およびアルミネット相の増量がスランプフローに与える影響	共著	2024 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集	小 林 皆也, 川崎 佑磨, 坂本恭裕, 福山智子	1009-1014	査読有
70	福山 智子	塩害範囲を限定した実大規模試験体の鋼材腐食および鋼材とコンクリートとの界面が水の移動に及ぼす影響	共著	2024 年 7 月	日本コンクリート工学会年次論文集	渡 邊 晋也, 金光 俊徳, 福山智子, 上田洋	793-798	査読有
71	福山 智子	Influence of flocculation with dry-mixing on slump flow of high-strength concrete	共著	2024 年 10 月	Frontiers in Built Environment	Yasuhiro Sakamoto , Tomoko Fukuyama , Tomoya Kobayashi, Yuma Kawasaki	doi.org/10.3389/fbuilt.2024.1380103	査読有
72	藤本 将光	The effects of bedrock topography and soil permeability on saturated zone distribution in	共著	2024 年	Hydrological Processes	Kotaro Yanai , Naoya Masaoka , Ken’ichi	doi: 10.1002/hyp.70000	査読有

		amountainous teep-slope area				rou Kosugi, M asamitsu Fujimoto and Yosuke Yamakawa ”		
73	藤本 将光	一般状態空間モデルを応用した土砂災害発生降雨の検出方法	共著	2024 年	AI・データサイエンスシンポジウム 論文集	大西 功, 藤本将光	786- 799	査読有
74	藤本 将光	令和4年8月村上市で発生した地形性降雨による斜面崩壊の偏在性に関する転移学習を用いた検討”	共著	2024 年	AI・データサイエンスシンポジウム 論文集	大西 功, 藤 本 将 光, 山口 弘誠	468- 479	査読有
75	藤本 将光	Challenges and Innovations in Advance Traffic Control System Under Extreme Weather Events	共著	2024年10月	”Proceedings of the 5th International Conference on Transportation Geotechnics (ICTG) 2024 2	”Yuusuke Miyazaki , Kiyoshi Kishida, Nobuyuki Torii, Tomofumi Koyama, Masamitsu Fujimoto , Kosei Yamaguchi, Junichi Susaki, Takumi Nakai, Keiichi Nishikawa, Teruyuki Fujiwara , Yasumasa Fujiwara , Shinji Komatsu, Satoshi Kagamiha ra, Isao Ohnishi, Norio Harada, Yoshimas a Nakagawa , Mitsuhir o Usami, Naoto Ueda, Masaya Naka, Hirotaka	281- 289	査読有

						Ishibashi, Akinori Genkai, Akihiro Hara, Yoshiharu Oshita, Motohiro Tanaka, Hirofumi Tanaka, ToshiyaY oshizumi		
76	本間 睦朗	光環境快適指標を目指した照明空間の印象評価手法と評価構造の検討	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	下 村 朋世, 本間睦朗	47-54	査読有
77	本間 睦朗	スマートグリッドによる非常電源供給を見据えた都市に対する電力の有効活用の検討	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	福 本 真史, 本間睦朗	17-24	査読有
78	本間 睦朗	伝統的文化遺産における光環境の在り方に関する考察	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 18	山口慶, 本間睦朗	55-62	査読有
79	向井 純子	Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共 編者 (共編著者)	2025 年 2 月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Junko Mukai, Min Li, Min Wang, Dowon Kim, Rohit Jigyasu”		査読無
80	村中 亮夫	インターネット調査における回答デバイスと回答の質—スマートフォンに注目した分析—	共著	2024 年 10 月	季刊地理学 76	埴淵知哉・村中亮夫	120-126	査読無
81	持田 泰秀	木材接手の引張強度実験を通じた手加工技術の技能習熟度の定量評価に関する研究	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論文集 Vol. 18	黒田みゆき、村井ひより、猪 口 朝加、小原愛美、船戸慶輔、宮田桂、鍛 冶 桃子、持田泰秀	9-16	査読有
82	山田 悟史	リカレント型ネットワークを用いた異常検知-ヒストグラム分布の類似性を用いて-	共著	2024 年 12 月	日本建築学会第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集 :論文部門 47”	中野雄大 山田悟史	167-172	査読有

83	山田 悟史	MR デバイスを用いた文化財の複合現実化による保全活用：長江家住宅を事例として	共著	2024年12月	日本建築学会第47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム 論文集 :論文部門 47”	東田陽樹 山田悟史	1-6	査読有
84	山本 理佳	「軍港都市 佐世保の展開」(特集 日本の港町)	単著	2024年11月	『地図情報』(地図情報センター) 171号	山本理佳	PP. 11-14	査読無
85	吉富 信太	Initial stiffness estimation method for wooden house considering non - structural elements using design information and microtremor measurement	共著	2024 年	Japan Architectural Review, Vol.7	S. Yoshitomi, T. Sada, T. Habara	DOI:10.1002/24758876.12461	査読有
86	吉富 信太	多質点系モデルを用いた連結制振ダンパーの配置および性能の合理的決定法	共著	2024年11月	日本建築学会構造系論文集, Vol. 89 (825)	樋口 敬治, 吉富 信太	pp. 1195-1201	査読有
87	王 旻	進化する軍事組織の災害救援活動—中国人民解放軍および日本自衛隊を例として—	単著	2024 年 4 月	東京大学 (博士論文)	王 旻		査読無
88	王 旻	Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course (ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM	共 編 者 (共 編 著 者)	2025 年 2 月	Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Junko Mukai, Min Li, Min Wang, Dowon Kim, Rohit Jigyasu”		査読無
89	李 敏	Disaster Risk Management of Cultural Heritage: A Global Scale Analysis of Characteristics, Multiple Hazards, Lessons Learned from Historical Disasters, and Issues in Current DRR Measures in World Heritage Sites”	単著	2024 年 8 月	”International Journal of Disaster Risk Reduction 110”	Min Li	doi.org/10.1016/j.ijdr.2024.104633	査読無
90	李 敏	Proceedings of the UNESCO Chair Programme on Cultural Heritage and Risk Management: International Training Course	共 編 者 (共 編 著 者)	2025 年 2 月	立命館大学衣笠研究機構歴史都市防災研究所			査読無

		(ITC) on Disaster Risk Management of Cultural Heritage, Ritsumeikan University in collaboration with ICCROM						
91	青木 和人	福井県自治体のGIS・地理空間情報の公開状況	単著	2025年3月	福井県立大学地域経済研究所, ふくい地域経済研究 40		pp. 21-48	査読有
92	大邑 潤三	地震史料のGISデータ化の意義と課題	単著	2025年	月刊地球, 47, 184-194.		184-194	査読無
93	岡田 篤正	地下地質に基づく第四紀後期の三方五湖低地の地形発達と三方断層帯の構造発達	共著	2024年12月	東京地学協会, 地学雑誌 133 巻, 6号	石村大輔 加藤茂弘 岡田篤正 佐藤裕司	PP 485-509	査読有
94	岡田 篤正	小浜低地の地下地質	共著	2024年12月	東北地理学会, 季刊地理学, 76 巻, 181-189 頁	堀和明・ 岡田篤正 中西利典 ・洪完・ 中島礼	PP. 181-189	査読有
95	岡田 篤正	糸魚川ー静岡構造線断層帯の全体像と概要	単著	2024年11月	日本地図センター, 地図中心, 626 巻,	岡田篤正	PP. 3~15	査読無
96	石田 優子	熊野参詣道伊勢路「波田須の道」の防災に関する一考察	単著	2025年3月	近畿大学工業高等専門学校, 近畿大学工業高等専門学校研究紀要, 第18号	石田優子	PP. 57~60	査読無
97	石原 凌河	南海トラフ地震による津波想定地域における商業店舗代表者の移転意向に関する研究	共著	2024年6月	日本建築学会計画系論文集, 89 巻・820号	杉山和則	PP . 1099 ~ 1110	査読有
98	石原 凌河	「災間」としての能登半島地震の課題：縮小社会における大災害の幕開け	単著	2024年7月	環境と公害, 54 巻・1号	石原凌河	PP . 39 ~44	査読無
99	石原 凌河	学校防災教育における手紙を媒介とした読み手への学びの伝達に関する研究	共著	2024年10月	自然災害科学, 43 巻・特別号	北村泉帆	PP. 141 ~155	査読有
100	石原 凌河	東日本大震災の被災地域における民間診療所の移転再建に関する研究	共著	2024年10月	都市計画論文集, 59 巻・3号	福島麻斗	PP . 1501 ~ 1508	査読有
101	石原 凌河	阪神・淡路大震災からどのような教訓を想起するのか？：阪神・淡路大震災30年キーワード調査の結果から	単著	2025年3月	日本災害復興学会学会誌『復興』, 13 巻・2号	石原凌河	PP . 16 ~22	査読無
102	石原 凌河	我が国災害救助法及び災害対策基本法における権限・責務の配分のあり方に関する課題	共著	2025年3月	地域安全学会論文集, 46号	吉村 裕司、大田直史	PP. 1~10	査読有
103	植村 善博	「淀川流域水害図」の解説とその意義	単著	2025年3月	京都歴史災害研究, 26号		PP. 1~8	査読有
104	桐村 喬	PLATEAU を用いた過去の3D都市モデルの構築ー終戦直後の京都市の事例ー	共著	2024年10月	地理情報システム学会、地理情報システム学会講演論文集, 33 巻	矢野 桂司、井上萌来	4 頁	査読無

105	壽崎 かすみ	災害時の犬や猫との どうこうひなんの円 滑化に向けて一犬と 猫の適正飼養の促進	単著	2024 年	社会科学研究所 年俵 第 5 4 巻		PP . 113- 135	査読無
106	鈴木 祥之	伝統的な木造軸組の 制震ダンパー補強効 果に与える気温の影 響に関する実験研究	共著	2024 年 7 月	歴史都市防災論 文集、巻 18	中 治 弘 行、須田、 達、吉富、 信太、, 閻 崇兵	PP. 1-8	査読有
107	鈴木 祥之	EXPERIMENTS ON EFFECTIVENESS OF SEISMIC DAMPER REINFORCEMENT OF TRADITIONAL TIMBER FRAME, EXPERIMENTS ON EFFECTIVENESS OF SEISMIC DAMPER REINFORCEMENT OF TRADITIONAL TIMBER FRAME	共著	2024 年 7 月	Proc. 18th World Conference on Earthquake Engineering	H. Nakaji, T. Suda, S. Yoshitom i, Y. Suzuki and C. Yan:		査読有
108	棚橋 秀光	伝統的貫構法の構造 特性についての考察 —大阪・関西万博の 大屋根（リング）の 構造に関連して—関 する研究	単著	2024 年 7 月	立命館大学歴史 都市防論文集 Vol. 18 (2024 年 7 月)	なし	PP. 147 ~154	査読無
109	藤井 健史	自由な樹種選択に対 応した緑視率期待値 線図の作成に関する 研究	共著	2024 年 8 月	日本建築学会, 日 本建築学会大会 学術講演梗概集	初鹿冬奈 山田悟史	PP. 203 ~204	査読無
110	藤井 健史	自由な樹種選択に対 応した緑視率期待値 線図の作成に関する 研究	共著	2024 年 12 月	日本建築学会, 第 47 回 情報・シス テム・利用・技 術シンポジウム 論文集（報告）	初鹿冬奈 山田悟史	PP. 233 ~236	査読無
111	中野 元太	防災活動への多様な 当事者の参加—松山 市での在留外国人を 対象とした防災教育—	共著	2024 年	地区防災計画学 会誌. 30 47-61.	山瀬麻里 絵	PP. 47 ~61	査読有
112	前田 一馬	山岳誌『山』にみる 「高原」の表象—「高 原」の誕生をめぐる 地理学的研究に關 するノート—	単著	2025 年 2 月	京都橘大学研究 紀要 51	前田一馬	PP. 243 -264	
113	前田 一馬	〈オースティンホテル〉の歴史地理	単著	2025 年 3 月	『軽井沢学叢書 I 』（軽井沢文化 遺産保存会・発 行）	軽井沢文 化遺産保 存会編	PP . 45~54	
114	丸岡 稔典	介護等体験の意義に 対する社会福祉施設 と大学の認識の違い —社会福祉施設への 質問紙調査を通じて	単著	2024 年 11 月	日本福祉教育・ ボランティア学 習学会研究紀要 43	丸岡稔典	PP . 130- 144	査読有
115	森下 雄治	城下町福井の災害と 都市構造の変遷	単著	2024 年 7 月	立命館大歴史都 市防災研究所, 歴史都市防災論 文集, Vol. 18	森下雄治	PP. 131 ~138	査読有
116	山崎 文雄	2018 年北海道胆振 東部地震における多 時期航空レーザ計測 データを用いた厚真 町の被害と復旧・復 興状況の把握	共著	2024 年 11 月	日本地震工学会 論文集, Vol. 24, No. 5	劉ウエン	PP. 309 ~322	査読有

117	Lata Shakya	The Role of Intangible Cultural Heritage for Sustainable Historic cities- Newar's Traditional Craft and Dwelling Culture of Craftsman	単 著 (報 告 書 掲 載)	2025 年 3 月	Intangible Cultural Heritage and Sustainable Communities in the Asia-Pacific Region: Report of the Research on ICH Contributing to SDGs Project (FY 2022-2024), International Research Centre for Intangible Cultural Heritage in the Asia-Pacific Region (IRCI)	MACHIDA Daisuke, NOJIMA Yoko, TSUJI Takashi, & KIZAKI Chikako (Eds.)	pp. 187-201,	査読無
118	サキヤラ タ	建築計画部門 PD 記録「フィールドワークの新しい方法―「みる」と「知る」の再接続」	単著	2025 年 2 月	日 本 建 築 学 会 建築雑誌、第1797号, pp. 34-56	日本建築学会	p. 44	査読無
119	サキヤ ラ タ	ネパール歴史市街地の防災とコミュニティ	単著	2024 年 11 月	『コミュニティ』No. 173、一般財団法人第一生命財団	—	pp. 80-84	査読無
120	サキヤ ラ タ	ネパールの都市部における教育機関およびコミュニティハウスを活用した災害対応 ― コロナ 禍 と 2015 年ゴルカ地震を対象として、	単著	2024 年 8 月	2024 日本建築学会学術講演会 (関東), 建築計画部門パネルディスカッション「フィールドワークの新しい方法」資料集	日本建築学会	pp. 62-65	査読無
121	Lata Shakya	Managing Regional Resources in Newar Towns: a case study of Ikhachhen Tole, Patan,	単著	2024 年 5 月	Buddha Jayanti Samaaroha Bu. Sa. 2568 Smarika, Ikhachhen, Lalitpur Mahanagarpalika 11,	—	pp. 131-135,	査読無

No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1	青柳 憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会 アーカイブWG 2023年度活動報告」	2024 年 4 月	第9回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・文化庁”	青柳 憲昌
2	青柳 憲昌	「法隆寺金堂壁画保存活用委員会 アーカイブWG 2023年度活動報告」	2024 年 6 月	第 10 回法隆寺 金堂壁画保存活用委員会、主催：法隆寺金堂壁画保存活用委員会・法隆寺・朝日新聞社、於・法隆寺聖徳会館	青柳 憲昌
3	阿部 俊彦	地方小都市におけるエリアプラットフォームの組成のためのワークショップ手法 甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくり その1	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	阿部俊彦・伊藤光題
4	阿部 俊彦	地方小都市におけるエリアプラットフォームによる未来ビジョン策定プロセスの評価 甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくり その2	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	小川直史・木下博貴・阿部俊彦
5	阿部 俊彦	プレイスメイキングの手法及び正統的周辺参加論に基づく社会実験「ブラッと貴生川」の実践 ー甲賀市貴生川駅周辺地域のまちづくりその3	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	小川直史・木下博貴・阿部俊彦
6	阿部 俊彦	地方都市中心市街地における防災建築街区のリノベーションまちづくりに関する研究ー 滋賀県彦根市銀座商店街を事例として	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 オーガナイズドセッション	井上拓磨・岡田昭人・阿部俊彦
7	阿部 俊彦	市役所跡地と周辺ストック活用に向けたまちづくりワークショップの報告 宮城県気仙沼市気仙沼市役所と三日町・八日町を事例として	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 オーガナイズドセッション	小磯佑真・村上由希子・寶珍宏元・阿部俊彦
8	阿部 俊彦	アクセス性に着目した都市公園内の美術館に関する研究	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集	岡本侑也・寶珍宏元・阿部俊彦
9	阿部 俊彦	「新と旧」をつなぐビジョンと施設のデザイン 滋賀県草津市老上学区を事例として	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集 建築デザイン発表	大西理斗・住田琴音・阿部俊彦
10	泉 知論	高次元超楕円サンプリングのFPGAによる高速化の検討	2024 年 9 月	第 23 回 情報科学技術フォーラム(FIT2024)	竹中元弥, 泉知論
11	泉 知論	Random Number Generators and Sphere Sampling for High-Level Synthesis	2025 年 1 月	the 43rd International Conference on Consumer Electronics (ICCE2025)	Syuji Onishi, Yuuto Asami, Tomonori Izumi, Motoya Takenaka
12	伊藤 真一	斜面崩壊確率の算出における確率変数の推定に関する一考察	2024 年 7 月	第 59 回地盤工学研究発表会	伊藤真一
13	大場 修	京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その2: 妻入町家の架構モデルとその変遷	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 157-160	大場修
14	大場 修	京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その3: 平入町家の建築的特徴とその変遷	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 161-164	大場修

15	大場 修	今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その1	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 145-148	大場修
16	大場 修	京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その1：妻入町家の建築的特徴とその変遷	2024 年 8 月	日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 51-52	大場修
17	大場 修	近世降井家住宅の家屋構成ー降井家の家屋構成と書院 その1ー	2024 年 8 月	”日本建築学会大会学術講演梗概集 pp. 73-74”	大場修
18	大場 修	主屋と書院の変遷過程 ー降井家の家屋構成と書院 その2ー	2024 年 8 月	”日本建築学会大会学術講演梗概集、pp. 75-76”	大場修
19	大場 修	近世降井家屋敷の特徴 ー降井家の家屋構成と書院 その3ー	2024 年 8 月	”日本建築学会大会学術講演梗概集、pp. 77-78”	大場修
20	小川 圭一	日本の都市部におけるロードダイエットの適用条件に関する研究 ー京都市内の 4 車線道路を対象としてー	2024 年 8 月	第 44 回交通工学研究発表会	小川圭一, 住若高章
21	小川 圭一	世帯構成を考慮した自家用車利用と公共交通利用による交通費用の比較分析	2024 年 9 月	土木学会第 79 回年次学術講演会	小川圭一
22	鐘ヶ江 秀彦	Biochar Application On The Post-Harvest Coffee Waste For Supplementary Income Of Indonesian Coffee Farms:Study Case In South Sumatra	2024 年 10 月	日本地域学会第 61 回 (2024) 年次大会学術発表論文集	Pipit Pajarwati
23	鐘ヶ江 秀彦	The Potential of Post-Harvest Coffee Waste as Raw Material for Charcoal in South Sumatra Indonesia	2024 年 9 月	日本炭化学会 2024 年度秋季全国大会	Pipit Pajarwati
24	鐘ヶ江 秀彦	The Potential Utilization of Coffee Waste as Charcoal in the Coffee Producing Area; Study Case South Sumatra Indonesia	2024 年 9 月	2024 年日本環境共生学会学術大会	Pipit Pajarwati
25	川崎 佑磨	道路ネットワークの被害検知を目的とした免震橋梁の地震損傷に関する解析的検討	2024 年	第 14 回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム	吉田智咲・浅見健斗・井上和真・後藤源太・川崎佑磨
26	川崎 佑磨	積層ゴム支承の残存耐震性能と AE パラメータによる損傷評価に関する基礎的研究	2024 年	令和 6 年度土木学会全国大会第 79 回年次学術講演会	室田亮馬・川崎佑磨・井上和真・姫野岳彦・後智貴
27	川崎 佑磨	光エンコーダを応用した高精度表面変位センサによる RC 床版の疲労載荷試験の変位計測	2024 年	第 13 回道路橋床版シンポジウム	工藤慎之輔・井上和真・川崎佑磨・小西優真・桑野響
28	河角 直美	「京の台所《錦市場》の店舗変遷ー方法と基礎資料に関する検討ー」	2024 年 5 月	2024 年度歴史地理学会第 67 回大会 (5 月 25・26 日 於：立命館大学衣笠キャンパス)	河角直美・加藤政洋・宮原佑成・稲田七海・前田一馬
29	河角 直美	「戦後沖縄における高台型〈歓楽街〉の店舗構成ー1969 年事業所基本調査の分析からー」	2024 年 10 月	2024 年人文地理学会大会 (11 月 23・23 日、於：近畿大学)	宮原佑成・河角直美・前田一馬・加藤政洋
30	河角 直美	「写真資料にみる 1950 年代沖縄の社会と景観」	2025 年 1 月	第 144 回国際 ARC セミナー (1 月 8 日、立命館大学 ARC、オンライン)	加藤政洋・河角直美
31	神田 孝治	海女と真珠と博覧会ーアッセンブリッジのレンズを通して考える	2024 年 9 月	万博学研究会第 15 回研究会合	神田孝治

32	木村 智	平田雅哉の大観荘にみる設計の傾向について	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部 研究発表会	木村智
33	木村 智	”ピエール・ルイジ・ネルヴィの1945 年から 1950 年までのフェロセメント建築”	2024 年 8 月	日本建築学会大会 学術講演会	木村智
34	木村 智	Reception of The Crystal Palace in Asia	2024 年 9 月	ISAIA2024 (京都)	Satoru KIMURA ,Yosuke KOMIYAMA,Toshia ki KIMURA
35	桜井 政成	書評 吉武由彩著『匿名他者への贈与と想像力の社会学: 献血をボランティア行為として読み解く』	2024 年	福祉社会学研究 (21)	桜井政成
36	花岡 和聖	Spatial analysis of mobile phone big data and the COVID-19 pandemic	2024 年 8 月	35th International Geographical Congress 2024, Dublin, Ireland	Hanaoka, K. & Yano, K.
37	平尾 和洋	兵庫県丹波篠山市の灰小屋の小規模性・簡易性に関する考察”	2024 年 6 月	”日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系 pp. 169-172”	潮田龍諒, 嶋津裕哉, 平尾和洋, 大場修
38	平尾 和洋	南丹市域の茅葺系民家の残存状況と妻入棟割民家の実測・年代推定”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 165-168”	平尾和洋, 大場修
39	平尾 和洋	京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その 3 : 平入町家の建築的特徴とその変遷”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 161-164”	渡部祐輝, 本田暁彦, 平尾和洋, 大場修
40	平尾 和洋	”京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その2: 妻入町家の架構モデルとその変遷”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 157-160”	木村愛美, 本田暁彦, 平尾和洋, 大場修
41	平尾 和洋	”京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察 その1: 1960. 80 年代の既往調査野帳の再分析による【妻入】民家の特質”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 153-156	大場修, 本田暁彦, 平尾和洋
42	平尾 和洋	”今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その2”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 149-152”	前田彩花, 饗庭優樹, 平尾和洋, 大場修
43	平尾 和洋	”今庄宿伝統的建造物群保存地区における町家・まちなみの諸特性分析および防災力向上に向けた予備的考察 その1”	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究報告集第 64 号計画系、pp. 145-148”	宮澤楠子, 饗庭優樹, 平尾和洋, 大場修
44	平尾 和洋	”京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その2 : 平入町家の建築的特徴とその変遷”	2024 年 8 月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp. 53-54”	東村天, 平尾和洋, 大場修
45	平尾 和洋	京都府亀岡旧城下町地区における伝統的町家の特質及び変遷に関する考察その1 : 妻入町家の建築的特徴とその変遷	2024 年 8 月	日本建築学会大会学術講演梗概集、pp. 51-52”	渡邊隆之助, 平尾和洋, 大場修
46	深川 良一	文化財周辺での斜面災害復旧対策事例 -連続繊維補強土工を用いた対策を例に-	2024 年 5 月	令和 6 年度砂防学会研究発表会概要集、特別セッション「世界遺産・歴史・観光資源と砂防」	宇次原雅之・深川良一
47	福水 洋平	Investigation of a Deep Learning Models for Puddle Detection	2025 年 3 月	”RISP International Workshop on Nonlinear Circuits,	Kazuya Monden, Yukinori Okamura, Yuki

				Communications and Signal Processing 2024"	Uetsuki, Kazuhiro Furuhashi and Yohei Fukumizu
48	福山 智子	Development of a novel postprocess for improving spatial resolution of electrical impedance tomography	2024 年 5 月	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. Keiya Minakawa, Mr. Keigo Ohta, Mr. Hiroaki Komatsu, Prof. Tomoko Fukuyama, Prof. Takashi Ikuno
49	福山 智子	Enhancing Component Material Discernment in Reinforced Concrete Structures through Frequency-Dependent Electrical Impedance Tomography	2024 年 5 月	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. Misaki Hayakawa, Mr. Keiya Minakawa, Mr. Keigo Ohta, Mr. Masahiro Otsude, Mr. Reiji Kaneko, Mr. Fuminori Mitsunashi, Prof. Tomoko Fukuyama, Prof. Takashi Ikuno
50	福山 智子	Applicability of High Conductive Cement Paste as Self-sensing Repair Material utilizing Piezoelectric Behavior	2024 年 5 月	20th World Conference on Non-Destructive Testing	Mr. HOJIN KIM, Prof. Tomoko Fukuyama, Dr. Yunmi Kim
51	福山 智子	軍艦島鉄筋コンクリート構造物 65 号棟の経年変化	2024 年 7 月	歴史都市防災シンポジウム	福山智子, 田中章夫, 寺本篤史
52	福山 智子	分極曲線による鋼材表面条件と断面欠損が及ぼす腐食影響に関する評価	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	KIM Hojin , 福山智子
53	福山 智子	電気インピーダンストモグラフィを用いたセメント系材料の電気化学的可視化ーその 1: モルタル内の埋	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	早川 岬希 , 福山智子 , 生野 孝
54	福山 智子	電気インピーダンストモグラフィを用いたセメント系材料の電気化学的可視化ーその 2: 水分移動	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	横田 幸佑, 早川岬希, 福山智子, 生野 孝
55	福山 智子	セメントペーストのひび割れが電圧変動に及ぼす影響	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	SHAO YANG , 福山智子
56	福山 智子	カーボンナノチューブ混和セメントペーストに関するパーコレーション閾値の決定	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	平山 達也 , 福山智子
57	福山 智子	建設用 3D プリンター積層体の異方性や性能低減に関する実験的検討	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演	植松 蓮, 福山 智子, 鎌田 太陽
58	藤本 将光	"降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討"	2024 年	R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会	覃馨, 藤本将光, 里深好文
59	藤本 将光	"地盤の透水性が斜面表層崩壊現象に及ぼす影響"	2024 年	"R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会"	石坂陽太, 水野仁, 藤本将光, 林祐妃, 藤井鼓太郎, 里深好文
60	藤本 将光	"透過性を有するブロック積砂防堰堤の捕捉機能に関する解析的検討"	2024 年	"R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会"	原田紹臣, 藤本将光, 中村達也, 里深好文, 佐藤

					哲也, 橋口聡太郎, 神野忠広, 水山高久”
61	藤本 将光	木造家屋の壁の耐水性に関する比較実験”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	大島康輔, 里深好文, 藤本将光, 遠藤直久
62	藤本 将光	河川堤防上の道路舗装の高機能化に関する研究”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	鮫島隆貴, 矢野むつみ, 里深好文, 藤本将光”
63	藤本 将光	地盤条件の違いが網状鉄筋挿入工の補強効果に及ぼす影響 の検討”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	藤本将光, 長谷川唯人, 原田紹臣, 里深好文, 小西成治, 尾方武文, 吉永憲次”
64	藤本 将光	粃殻灰を用いた改良土の強度特性に関する実験的検討”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	LI YU, 藤本将光, 糸数哲, 川崎佑磨, 里深好文”
65	藤本 将光	清水寺地下水位、湧水の発生状況の実態把握に関する研究”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	鹿島翔太, 藤本将光, 高尾宗志, 宇治原雅之, 藤田哲, 里深好文, 深川良一”
66	藤本 将光	深層学習を用いた清水寺の土砂災害発生雨量の予測に関する研究”	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	高尾宗志, 藤本将光, 里深好文
67	藤本 将光	洪水氾濫発生地における輪中堤や霞堤の減災効果に関する研究	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	安田大輝, 里深好文, 藤本将光
68	藤本 将光	霞堤による支川の洪水氾濫抑制に関する実験	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	金盛悠佑, 里深好文, 藤本将光
69	藤本 将光	支川合流部における土砂・洪水氾濫の発生メカニズムに関する基礎的な実験	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	原田紹臣, 里深好文, 辻川愛, 竹下耕樹, 藤本将光, 水山高久
70	藤本 将光	粒子の運動特性に着目した土石流の堆積速度に関する検討	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	榊原颯輝, 里深好文, 藤本将光”
71	藤本 将光	地形変化が土砂流出へ及ぼす影響に関する検討	2024 年	”R6 年度 砂防学会研究発表, 和歌山大会”	大知俊介, 里深好文, 藤本将光
72	藤本 将光	Impact of Tree Canopy Elevation on Rainfall Attenuation, and Soil Erosion Dynamics for Enhanced Erosion Control	2024 年	The 11th International Workshop on Multimodal Sediment Disasters	Khawaja Mir Tamim HAQDAD, Yoshifumi SATOFUKA, Masamitsu FUJIMOTO and Masahiro MURATA
73	本間 睦朗	建築における光環境設計様式の明確化に関する研究	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	本間睦朗
74	本間 睦朗	スマートグリッドによる非常電源供給を見据えた都市に対する電力の有効活用の検討	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	福本真史
75	本間 睦朗	光環境快適指標を目指した印象評価手法と評価構造の検討	2024 年 9 月	照明学会全国大会	下村朋世
76	本間 睦朗	Rhinoceros を用いた角度制御ブラインドの効果検証	2024 年 9 月	照明学会全国大会	松井舜
77	本間 睦朗	建築光環境の歴史に関する研究	2024 年 9 月	照明学会全国大会	本間睦朗
78	向井 純子	From Venice to Nara, rebuilding as before: the cases of Notre-Dame de Paris (France) and Shuri-	2024 年 10 月	International Conference 1964-2024 The Venice Charter. Theoretical reflections and operating	Toshiyuki Kono, Junko Mukai, Benjamin Mouton

		Jo (Japan)		practices in the restoration project, Firenze	
79	村中 亮夫	“立命館大学文学部地域研究学域の卒業論文にみる社会調査の活用”	2024 年 11 月	2024 年度（第 36 回）立命館地理学会大会	村中亮夫
80	持田 泰秀	木材接手の引張強度性能の違いから見る加工技術の習熟度に関する研究	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	猪口朝香、持田泰秀、小原愛美、船戸慶輔、鍛冶桃子、宮田桂
81	持田 泰秀	PCa 工法と在来工法のコンクリート表層性能の違いに関する研究 その 2 材令 1 年間にける設計基準強度とセメントの違いによる影響	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	猪俣史也、持田泰秀、坂田博史、山田和輝
82	持田 泰秀	プレキャスト工法と在来工法のコンクリート表層性能に関する研究 ACROS を用いたコンクリート表面性能調査	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	山田和輝、持田泰秀、坂田博史、猪俣史也
83	持田 泰秀	コンクリートのひび割れ調査法に関する研究＝近年の AI を活用した方法の有効性について＝	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	村松凌太、持田泰秀、西尾敦昌
84	持田 泰秀	奥能登における群発地震被害に関する研究＝令和 5 年 5 月の奥能登地震における被害について＝	2024 年 8 月	日本建築学会学術講演会	小原愛美、持田泰秀
85	矢野 桂司	Constructing a place-name dictionary for the present and the past - a case study of the old Japanese maps	2024 年 8 月	“the 35th International Geographical Congress 2024”	KeijYano, Kzaumasa Hanaoka, Ryo Kamata
86	矢野 桂司	Urban Analysis of Mobile Phone Big Data and the COVID-19 Pandemic	2024 年 8 月	the 35th International Geographical Congress 2024	Kazumasa Hanaoka and Keij Yano
87	矢野 桂司	多様な地理空間情報を活用した京都市内の京町家分布の時空間的変容	2024 年 10 月	第 33 回地理情報システム学会学術研究発表大会	井上 萌来 田畑 勇也、 矢野 桂司
88	矢野 桂司	PLATEAU を用いた過去の 3D 都市モデルの構築-終戦直後の京都市の事例-	2024 年 10 月	第 33 回地理情報システム学会学術研究発表大会	桐村 喬、矢野 桂司、井上 萌来
89	矢野 桂司	The Virtual Kyoto Project as a Tool for Digital Humanities”	2024 年 11 月	“2024. 11. 16-113th Annual Meeting of the Research Center for Chinese Cultural Metaverse in Taiwan, “Metacosmic Digital Humanities Research Driven by Generative Artificial Intelligence”	Keiji Yano
90	山田 悟史	学術的な論考にあらわれる総体としての建築家像:テキストマイニングを用いた概念の多様性と解釈の比較	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（情報システム技術）, pp. 109-110, 2024. 9, 日本建築学会	谷川奈央, 山田悟史
91	山田 悟史	可変機構×日常×一時避難	2024 年 8 月	“日本建築学会大会（関東）デザイン発表梗概集, pp. 224-225, 2024. 9, 日本建築学会	大島佳奈子, 山田悟史
92	山田 悟史	色対比効果を考慮した画像の色彩知覚の分析手法の提案	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（都市計画）, pp. 1041-1042, 2024. 9, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
93	山田 悟史	視野角によって異なる視認特性の把握”	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（建築計画）	本城真輝, 山田悟史

				, pp. 575-576, 2024. 9, 日本建築学会	
94	山田 悟史	自由な樹種選択に対応した緑視率期待値線図の作成に関する研究”	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（情報システム技術）, pp. 203-204, 2024. 9, 日本建築学会	藤井健史, 初鹿冬奈, 山田悟史”
95	山田 悟史	Cymatics Designe Systemを用いた空間生成: 建築における音の周波数とインタラクシヨンの検討	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）デザイン発表梗概集, pp. 104-105, 2024. 9, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
96	山田 悟史	機構都市の流動するアニメ	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）デザイン発表梗概集, pp. 100-101, 2024. 9, 日本建築学会	米光陸, 山田悟史
97	山田 悟史	VR 空間における解像度と空間認知の関係性: 3D スキャンでアーカイブされた歴史的建造物を対象に	2024 年 8 月	日本建築学会大会（関東）学術講演会梗概集（建築歴史・意匠）, pp. 801-802, 2024. 9, 日本建築学会”	KIM Joonyoung, 山田悟史
98	山田 悟史	空間に応じた聴覚拡張によるフィジタルサウンドスケープに向けた実験-音と空間の類似性による空間評価”	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 論文 pp. 259-262, 2024. 12, 日本建築学会”	大松瞬, 山田悟史
99	山田 悟史	視覚特性を反映する XR 空間でのシェーダー・ポストプロセスに向けた画像処理の提案”	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 27-30, 2024. 12, 日本建築学会	古山大成, 山田悟史
100	山田 悟史	注視によって音量を操作可能な VR 空間のマルチサウンドシステムの開発: 立ち位置選択式との比較	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 11-14, 2024. 12, 日本建築学会	竹下歩夢, 山田悟史
101	山田 悟史	深層学習による歩行者位置予測と凸包アルゴリズムによるロボット侵入回避エリアの予測に向けた試行	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 163-166, 2024. 12, 日本建築学会	江本舜, 山田悟史
102	山田 悟史	3D プリンタの手動制御を用いた微小な空隙操作により透過率設定可能な遮蔽物の開発	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 173-176, 2024. 12, 日本建築学会”	宇佐美要成, 山田悟史
103	山田 悟史	XR 空間における音と形態の潜在的な繋がりに関する研究”	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 15-18, 2024. 12, 日本建築学会	北本英里子, 山田悟史
104	山田 悟史	群機能化するシンプルなロボットによる空間モデルの提案 -物体の移動と可変機構の展開-	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 131-134, 2024. 12, 日本建築学会	大島佳奈子, 山田悟史
105	山田 悟史	VR 空間における解像度と空間認知の関係性: 異なる建築様式におけるポリゴン数とピクセル数の影響”	2024 年 12 月	”第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 15-18, 2024. 12, 日本建築学会”	KIM Joonyoung, 山田悟史
106	山田 悟史	自由な樹種選択に対応した緑視率期待値線図の作成に関する研究”	2024 年 12 月	”第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 233-236, 2024. 12, 日本建築学会”	藤井健史, 初鹿冬奈, 山田悟史”
107	山田 悟史	寺院建築における仏教を背景とした Phygital 空間の設計”	2024 年 12 月	”第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp. 289-290, 2024. 12, 日本建築学会	小泉彰也, 山田悟史
108	山田 悟史	デジタルコンテンツ・空間・人間の相互作用による文化財のデジタルリノベーション”	2024 年 12 月	第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: インタラクティブ pp. 293-294, 2024. 12, 日本建築学会	小野葵, 山田悟史
109	山田 悟史	パラメトリックデザインにおける案の探索支援システムの実装: human in the loop	2024 年 12 月	”第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集: 報告 pp. 353-356,	田中雅也, 山田悟史

		を用いた感性の最適化		2024. 12, 日本建築学会	
110	山田 悟史	南京玉簾の機構を応用した展開式構法の提案	2024 年 12 月	”第 47 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論集：報告 pp. 349-352, 2024. 12, 日本建築学会	林優斗, 山田悟史
111	山本 理佳	観光がつむぐ記憶の場所—産業遺産を事例に—	2024 年 5 月	歴史地理学会第 67 回大会	山本理佳
112	吉富 信太	セメント系 3DP で出力した構造体の積層中の座屈荷重に関する検討, 日本建築学会大会 (関東), pp. 155-156, 2024. 7	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	谷尾優希, 吉富信太
113	吉富 信太	レシプロカルフレームによる平面構造の構造性能に関する検討, 日本建築学会大会 (関東), pp. 751-752, 2024-07	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	岩本昇真, 吉富信太
114	吉富 信太	制震ダンパー付長ほぞ差し込栓打ち仕口の静的加力実験	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	中治弘行, 鈴木祥之, 須田達, 吉富信太, 閻崇兵
115	吉富 信太	鋼板挿入ドリフトピン接合を用いた木質中層ラーメンの設計支援のための性能把握	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	山本祥太, 吉富信太
116	吉富 信太	CLT 格子状耐震壁を用いた設計に関する研究	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	小林祥太郎, 吉富信太
117	吉富 信太	曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の接合部ディテールを考慮した性能評価	2024 年 8 月	日本建築学会大会 (関東)	安井歩夢, 吉富信太
118	吉富 信太	建築構造物の部分性能推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本康央, 吉富信太
119	吉富 信太	レシプロカルフレームによる平面構造の構造性能に関する検討	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	岩本昇真, 吉富信太
120	吉富 信太	多質点系モデルにおける連結制振ダンパーの配置および性能の合理的決定法	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	樋口敬治, 吉富信太
121	吉富 信太	セメント系 3DP で出力した構造体の積層中の座屈荷重に関する検討	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	谷尾優希, 吉富信太
122	吉富 信太	静的水平加力試験に基づく土壁における貫の成の違いによる土壁の構造的性能向上メカニズムの検証	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	岡尾宗一郎, 吉富信太
123	吉富 信太	CLT 格子状耐震壁を用いた設計に関する研究	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	小林祥太郎, 吉富信太
124	吉富 信太	仕口部にゴムダンパーを適用した面格子制震壁の開発と性能検証	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	米沢美紅, 吉富信太
125	吉富 信太	曲線部材を用いた木質ユニット耐力壁の接合部ディテールを考慮した性能評価	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	安井歩夢, 吉富信太
126	吉富 信太	鋼板挿入ドリフトピン接合を用いた木質中層ラーメンの設計支援のための性能把握	2024 年 6 月	日本建築学会近畿支部研究発表会	山本祥太, 吉富信太
127	SAUCEDO SEGAMI DanielDan te	「パブリック考古学と町内会—ペルーリマ市における考古遺産保護への市民協力」	2024 年 12 月	古代アメリカ学会第 29 回研究大会・総会	サウセド・セガミ・ダニエル・ダンテ

128	SAUCEDO SEGAMI DanielDaniel	El Proyecto Nikkei de la Universidad Ritsumeikan: Una aproximación a estudios de diáspora entre Perú y Japón desde una perspectiva interdisciplinarian	2024 年 8 月	環太平洋文明研究センター・ペルーカトリック大学	SAUCEDO SEGAMI Daniel
129	SAUCEDO SEGAMI DanielDaniel	El Proyecto Nikkei de la Universidad Ritsumeikan: Una aproximación a estudios de diáspora entre Perú y Japón desde una perspectiva interdisciplinarian	2024 年 5 月	日本ラテンアメリカ学会 第 45 回定期大会	SAUCEDO SEGAMI Daniel
130	SAUCEDO SEGAMI DanielDaniel	Patrimonio arqueologico y politica: Problemas y posibilidades de los sitios arqueológicos como capital político en Lima, Peru	2024 年 5 月	日本ラテンアメリカ学会 第 45 回定期大会	SAUCEDO SEGAMI Daniel
131	王 旻	“災害との共生：進化する軍事組織の災害救援活動”	2024 年 9 月	共生社会システム学会 2024 年度大会”	王 旻
132	青木 和人	人工衛星画像と AI を用いた自治体業務効率化手法の検討	2024 年 10 月	第 33 回地理情報システム学会研究発表大会	
133	青木 和人	地方自治体オープンデータの分野別公開状況	2024 年 9 月	2024 年日本社会情報学会 (SSI) 全国大会	
134	石田 優子	参詣道の保全における現状と課題	2024 年 5 月	令和 6 年度砂防学会研究発表会、和歌山	
135	石田 優子	熊野古道「横垣峠地すべり」における地下水位上昇と降雨特性の研究	2025 年 1 月	高専シンポジウム、岡山	土田耕平
136	石原 凌河	東日本大震災の被災地域における民間診療所の移転実態と評価に関する研究	2024 年 7 月	日本都市計画学会第 22 回関西支部研究発表会	福島麻斗
137	Ryoga Ishihara	Do Recovery Projects Cause Gentrification? : A Case Study of Taira Area, Iwaki City, Fukushima Prefecture	August 2024	International Conference of Asian-Pacific Planning Societies 2024	
136	Ryoga Ishihara	The Potential of Letters as a Disaster Prevention Communication Tool	August 2024	14th Annual Conference of the International Society for Integrated Disaster Risk Management	
137	石原 凌河	令和 6 年能登半島地震による被災建物の増築状況：石川県七尾市田鶴浜地区の事例調査から	2024 年 9 月	2024 年度日本建築学会大会（関東）学術講演会	荒木裕子、田淵敦士、関口達也
138	Ryoga Ishihara	Issues of Evacuation Shelters for the 2024 Noto Peninsula Earthquake in a Shrinking Society, Japan.	September 2024	2024 International Conference of New Praxis and Taiwan-Japan Alliance of Local Revitalization and Social Practice	
139	石原 凌河	学校防災教育における手紙を媒介とした読み手への学びの伝達に関する研究	2024 年 9 月	第 43 回日本自然災害学会学術講演会	北村泉帆
140	石原 凌河	「災間」としての能登半島地震の課題：縮小社会における大災害の幕開け	2024 年 9 月	第 39 回日本環境会議東京大会	
141	石原 凌河	東日本大震災の被災地域における民間診療所の移転再建に関する研究	2024 年 11 月	日本都市計画学会 2024 年度全国大会（第 59 回学術研究論文発表会）	福島麻斗
142	石原 凌河	我が国防災法における国、地方公共団体との関係性に関する課題：石川県内自治体の	2024 年 11 月	第 55 回地域安全学会研究発表会（秋季）	吉村裕司、大田直史

		災害救助関連例規に注目して			
143	石原 凌河	帰宅困難者対策における自治体と鉄道事業者との情報連携の課題	2024 年 11 月	第 55 回地域安全学会研究発表会（秋季）	谷澤莉音
144	岡田 篤正	25,000 活断層図 釜戸断層とその周辺「鳥取東部」	2024 年 10 月	国土地理院	熊原康博・後藤秀昭・千田昇・安江健一
145	岡田 篤正	25,000 活断層図 鹿野ー吉岡断層とその周辺「鳥取西部」	2024 年 10 月	国土地理院	松多信高・後藤秀昭・小山拓志
146	大邑 潤三	対話型生成 AI を用いた歴史地震の震度判定の試み	2024 年 10 月	日本地震学会 2024 年度秋季大会	北本朝展・加納靖之・橋本雄太
147	Takashi Kirimura	Three-dimensional analysis of long-term changes in urban space using DSM: A case study of central Kyoto, Japan	2024 年 8 月	35th International Geographical Congress 2024, Dublin, Ireland	
148	桐村 喬	PLATEAU を用いた過去の 3D 都市モデルの構築ー終戦直後の京都市の事例ー	2024 年 10 月	地理情報システム学会第 33 回学術研究発表大会、京都大学	矢野桂司、井上萌来
149	桐村 喬	国土地理院の空中写真を用いた現在・過去の街並みの 3D モデル構築と活用	2025 年 2 月	日本写真測量学会関西支部テクニカルセミナー・第 128 回空間情報話題交換会、大阪公立大学（招待講演）	
150	桐村 喬	1961～2021 年の DSM を利用した神戸市既成市街地における建物高さの時空間分析	2025 年 3 月	2025 年日本地理学会春季学術大会、駒澤大学	
151	鈴木 祥之	制震ダンパー付長ほぞ差し込栓打ち仕口の静的加力実験	2024 年 7 月	日本建築学会学術講演	中治弘行、須田達、吉富信太
152	夏目 宗幸	四国の自治体における道路損傷通報システムに関する研究	2025 年 2 月	四国 GIS シンポジウム 2025	谷本 綾美
153	夏目 宗幸	徳島市の水辺における公園整備と親水性に関する研究ーひょうたん島を対象としてー	2025 年 2 月	四国 GIS シンポジウム 2025	中西 美晴,
154	前田 一馬	地域の歴史文化資源としての「近代別荘建築」ー軽井沢町における保存の現状ー	2024 年 11 月 24 日	第 163 回 歴史地理研究部会（2024 年人文地理学会大会部会アワー）	
155	丸岡 稔典	社会福祉施設が認識する施設での介護等体験の意義	2024 年 11 月	日本福祉教育・ボランティア学習学会第 30 回とうきょう大会 日本社会事業大学	
156	宮崎彩	Participation of Local Communities in the Historic Centre of Mexico City (CHCM), Mexico,”	2024 年 10 月 20 日	Heritage & Landscape Conservation Conference, ICCROM-Peking Forestry University	なし
157	宮崎彩	“Whose “Heritage” is International Conservation System Protecting?,”	2024 年 11 月 14 日	ICOMOS Scientific Symposium 2024	なし
158	宮崎彩	「トレン・マヤ (Tren Maya) 沿線地域視察の報告:21 世紀の大型開発事業による文化遺産の影響に関する考察」	2024 年 12 月 7 日	古代アメリカ学会、第 29 回研究大会、慶應技術大学来往舎	渡辺裕木
159	宮崎彩	「「資源化する文化遺産」と「文化遺産化する資源」：持続可能な文化遺産とその弊害」	2024 年 12 月 11 日	東アジア未来フォーラム 2024 学術会議	なし
160	宮崎彩	“Multileveled Actors in Heritage Ecosystem”	2025 年 1 月 10 日～11 日	富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録 10 周年記念国際シンポジウム	なし
161	Lata	Exploring the History of	2024 年 12 月	Workshop for the	ー

	Shakya	“De Pukhu Chhen”		conservation of historic settlement in Kirtipur, Kirtipur Municipality, Nepal	
--	--------	------------------	--	---	--

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第1回定例研究会	歴防カンファレンスホール+OIC+BKC	2024年4月6日	36名	なし
2	第2回定例研究会	歴防カンファレンスホール+OIC+BKC	2024年5月10日	60名	なし
3	第3回定例研究会	歴防カンファレンスホール+OIC+BKC	2024年6月7日	54名	なし
4	第18回シンポジウム	衣笠キャンパス以学館	2024年7月	93名	なし
5	第4回定例研究会	歴防カンファレンスホール+OIC+BKC	2024年10月4日	50名	なし
6	第5回定例研究会	歴防カンファレンスホール+OIC+BKC	2024年12月13日	35名	なし
7	第6回定例研究会	Zoom	2025年2月28日	61名	なし
8	第7回定例研究会	歴防カンファレンスホール	2025年3月6日	25名	なし
9	富岡製糸場と絹産業遺産群」世界遺産登録10周年記念国際シンポジウム	群馬音楽センター	2025年1月10日～11日	200名以上	群馬県／群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会／日本イコモス国内委員会共催
10	旧加悦町役場庁舎保存活用改修工事完成5周年記念講演会	旧加悦町役場庁舎	2024年11月16・17日	150名	与謝野町、旧加悦町役場庁舎耐震改修検討委員会

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1.	青柳 憲昌	「文化財建造物調査法特論」	文化財建造物修理主任技術者講習会（上級コース）、文化庁主催	2024年9月5日
2.	青柳 憲昌	「亀岡旧城下町地区の近世寺院・町会議所の建築群と町並み」	第2回亀岡旧城下町まちなみ勉強会、亀岡市主催、於・亀岡市柳町会議所	2024年9月21日
3.	阿部 俊彦	野路町会新宮会館リニューアル計画提案	野路町会	2024年度
4.	阿部 俊彦	玉川まちづくりセンター建て替え計画提案	遺跡と萩の育む玉川まちづくり推進会議	2024年度
5.	阿部 俊彦	滋賀県立美術館とびわこ文化公園との一体的な魅力向上に関する調査研究（受託）	滋賀県立美術館	2024年度
6.	阿部 俊彦	貴生川まちづくり活動支援業務委託（その3）	甲賀市	2024年度
7.	阿部 俊彦	矢橋帰帆島社会実験企画運営支援	老上西まちづくり協議会	2024年度
8.	阿部 俊彦	液状化被災地のまちづくり提案	かほく市大崎区	2024年度
9.	阿部 俊彦	茨木市シャレットワークショップ（愛知工業大学益尾研究室と共同）	茨木市	2024年度
10.	阿部 俊彦	UDCBK 都市マネジメントスクール社会実験企画運営支援	草津市	2024年度

11.	大窪 健之	特集記事「観光地としての資源を活かした帰宅困難者支援の可能性」	”京都だより, No. 567, 京都府建築士会, pp. 8-11”	2024 年 3 月～ 2024 年 3 月
12.	大場 修	京都人が知らない京町家の世界	京都新聞マーケティング・フォーラム	2024 年 5 月
13.	大場 修	備えと構えの民家史ー「水上げ小屋」と「タカ」をめぐるー	第 18 回歴史都市防災シンポジウム・特別講演	2024 年 7 月
14.	大場 修	亀岡旧城下町地区の伝統的建造物群としての特徴と価値	亀岡旧城下町伝建調査報告会	2024 年 8 月
15.	大場 修	備えと構えの民家史 丹後・但馬地域の「タカ」をめぐるー	伝建まちなみ講演会	2024 年 9 月
16.	大場 修	旧加悦町役場庁舎の建築的特徴と意義	「令和の大修理」竣工 5 周年記念事業	2024 年 11 月
17.	大場 修	私の建築史学の視点と方法	大和大学建築学部	2024 年 11 月
18.	大場 修	京町家カルテ委員長が見た住まいの形ー構えと備えの民家史ー	京町家再生セミナー	2025 年 2 月
19.	大場 修	阿智村・駒場地区の町家と町並の特徴	阿智村駒場の歴史と地域デザインを考える	2025 年 3 月
20.	大場 修	長浜の町家と町並み	長浜城下町まちづくり勉強会 「長浜城下町遺産」選定記念	2025 年 3 月
21.	北西 諒介	地名から見る千里ニュータウンの〈まとまり〉と〈ひろがり〉	多摩ニュータウン学会 例会	2024 年 10 月
22.	金 度源	”Harnessing Traditional Knowledge in Community-Based Disaster Risk Management: Case Study from Japan”	”Strengthening Regional Capacity in Central Asia for Disaster Risk Reduction and Emergency Preparedness for Culture”	2024 年 3 月
23.	金 度源	”Living with the Water: Cases of Cultural Heritage in Japan”	”DESIGNING WITH WATER TOWARD SUSTAINABLEDEVELOPMENT & REGENERATION”	2024 年 4 月
24.	金 度源	”Historic Context of Living Heritage city, Kyoto”	日本イコモス常置委員会オーセンティシティに関する連続研究会	2024 年 5 月
25.	金 度源	Planning the Capacity-Building Programme through the Community Engagement Model	UNESCO DISASTER RISK MANAGEMENT TRAINING WORKSHOP	2024 年 9 月
26.	金 度源	Needs of Capacity-building And Community Engagement Model:Practice from Japan	UNESCO DISASTER RISK MANAGEMENT TRAINING WORKSHOP	2024 年 9 月
27.	金 度源	A multi-hazard approach for designing mitigation strategies: practices in Japan	PREVENT: Mitigating Flood Risk for Heritage	2024 年 9 月
28.	金 度源	The Principles for Emergency Response and A Case Study for Landscape Scale	Training on Community-based Emergency Preparedness and Response: Strengthening Civil Society Action for Safeguarding Cultural Heritage	2024 年 10 月
29.	金 度源	Harnessing Traditional Knowledge in Community-Based Disaster Risk Management: Case Study from Japan	Empowering Mongolia by Building Resilience Against Climate Emergencies Capacity Building Workshop on Integrating Heritage and Disaster Risk Reductions	2024 年 10 月

30.	金 度源	日本の文化財建造物に関連する 水害対策	令和6年度 日韓文化財建造物 保存協力協議会 意見交換会	2024 年 11 月
31.	木村智	近代和風建築を活用した地域づ くり	亀岡旧城下町まちなみ勉強会	2024 年 12 月
32.	里深 好文	風水害対策	京都府防災士養成講座	2024 年 11 月
33.	豊田 祐輔	地域と防災: これからの災害・こ れからの地域防災	茨木市住みよいまちづくり協 議会 講演会	2024 年 5 月
34.	豊田 祐輔	緊急！災害トイレチャレンジ (茨木市総務部危機管理課共 同)	いばらき×立命館 DAY2023 (立 命館大学主催)	2024 年 5 月
35.	豊田 祐輔	地域防災の二面性 積極的参加 層と消極的参加層への異なるア プローチ地域コミュニティにお ける防災活動の現状と未来～ “千年に一度、巨大地震の世 紀!?” 海外の研究事例やゼミで の実践的取組などから考える～	立命館大学オンラインプレス セミナー	2024 年 5 月
36.	豊田 祐輔	防災釣りゲーム・災害時の行動 を考えよう！お絵描きゲーム	2024 年度棧橋通三丁目東地区 防災会 防災フェスタ (訓練) (棧三東町内防災会；参加者： 住民) 棧橋通3丁目緑地 (三角 公園)・隣接道路 (仲田町)、高 知	2024 年 11 月
37.	豊田 祐輔	防災釣りゲーム (大阪府池田土 木事務所・大阪府都市整備部事 業調整室都市防災課共同)	第 12 回神崎川流域合同防災訓 練、豊中市立グリーンスポーツ センター、大阪	2024 年 11 月
38.	仲谷 善雄	京都駅周辺地域都市再生緊急整 備協議会 都市再生安全確保計 画部会 部会長	キャンパスプラザ京都	2011 年度より継 続
39.	花岡 和聖	災害対応とまちづくり	東稜高校との高大連携企画	2024 年 9 月
40.	深川 良一	能登半島地震における被災状況 ー地盤災害を中心にしてー	歴史都市防災研究所・定例研 究会	2024 年 5 月
41.	深川 良一	能登半島地震に学ぶ ー地盤災害を中心にしてー	玉川中防災講演	2024 年 6 月
42.	深川 良一	2024 年能登半島地震における地 盤災害	第 37 回滋賀地盤講演会	2024 年 6 月
43.	深川 良一	令和 6 年能登半島地震における 地盤災害	防災 FRC・防災セミナー	2024 年 8 月
44.	深川 良一	土砂災害	聖泉大学・防災論	2024 年 9 月
45.	深川 良一	令和 6 年能登半島地震に学ぶ ～地盤災害を中心にして～	甲賀町民生委員児童委員協議 会研修会	2024 年 9 月
46.	深川 良一	土砂災害 (第 3 講)	令和 6 年度京都府防災士養成研 修【北部研修】	2024 年 11 月
47.	深川 良一	滋賀県における災害の激化と備 え ～地盤災害を中心にして～	BKC 開設 30 周年記念事業 2024 年度シンポジウム”	2024 年 11 月
48.	深川 良一	Noto Peninsula Earthquake (Jan. 2024) and Heavy Rain Disaster (Sept. 2024) - Focusing on Ground Disasters-	12th Japan-Vietnam Joint Seminar on Flood, Sediment Disasters and Environmental Issues, Special Lecture	2024 年 11 月
49.	深川 良一	土砂災害と対策・備え	令和 6 年度滋賀県自主防災組織 リーダー・防災士養成講座	2024 年 12 月
50.	深川 良一	土砂災害 (第 3 講)	令和 6 年度京都府防災士養成研 修【南部研修】	2025 年 1 月
51.	深川 良一	土砂災害	びわ湖東北部地域連携協議会 2024 年度防災士養成講座”	2025 年 1 月
52.	深川 良一	2024 年 9 月能登半島豪雨災害被 災状況報告	防災 FRC・防災セミナー	2025 年 1 月
53.	福水 洋平	別人の可能性 3 万分の 1、姿く らますキーマン バイヤーは香 港警察へ	朝日新聞デジタル 連載: バイ ヤーたちの暗転 高級時計買 い付「キーマン」を追え	2024 年 8 月

54.	福水 洋平	防カメ映像、本当に容疑者？専門家に聞く、解析技術のいま	朝日新聞デジタル	2024 年 10 月
55.	福水 洋平	防犯カメラ画像における画像解析	朝日新聞 朝刊「6 人死亡火災殺人で起訴」	2024 年 10 月
56.	福山 智子	軍艦島の鉄筋コンクリート構造物	京滋コンクリート診断士会	2024 年 10 月
57.	福山 智子	Durability of Reinforced Concrete	International Symposium on Functionalization and Applications of Soft/Hard Materials	2025 年 1 月
58.	福山 智子	鉄筋コンクリート構造物の耐久性に関する研究	福井県建設技術公社 セメント系材料の利活用セミナー	2025 年 2 月
59.	向井 純子	ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科における文化遺産教育推進プロジェクトにおける文化遺産教育強化方針の策定および関連科目カリキュラムと教材作成	ブータン王立大学科学技術カレッジの指導要綱に反映	2024 年 7 月～ 2025 年 6 月
60.	向井 純子	ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科フィールド学習およびコミュニティーを交えた発表会「Revitalization of Eusuna Village - Sustainable Community -Cultural and Economic Integration」	第 5 学年を対象とした Eusuna 村におけるフィールド学習の企画と講師/モデレーター（於パロ県）	2024 年 8 月
61.	向井 純子	文化遺産建造物アーカイブプロジェクトにおけるコンテンツ作成	ブータン内務省文化国語局との共同プロジェクト	2024 年 10 月～
62.	向井 純子	ブータンの文化遺産保護管理者等を対象とした文化遺産管理研修	研修の企画、実施、案内（於福井県、京都府、奈良県）	2024 年 9 月
63.	向井 純子	ブータンの建築教育関係者等を対象とした文化遺産教育研修	研修の企画、実施、案内（於京都府、奈良県、兵庫県）	2024 年 10 月
64.	向井 純子	沖縄県近現代建造物緊急重点調査	事業統括委員代表	2024 年 4 月～ 2026 年 3 月
65.	向井 純子	沖縄県建築士会主催「沖縄県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座」令和 6 年度文化芸術振興費補助事業（地域文化財総合活用推進事業）	実施委員代表	2024 年 11 月～ 2025 年 2 月
66.	向井 純子	Brief Methodology of the Workshop Program - Integration of Culture and Economy for Sustainable Community Development	ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科第 5 学年対象オンライン講義	2024 年 7 月
67.	向井 純子	Disaster Risk management of Heritage Sites in Bhutan	ITC2024	2024 年 9 月
68.	向井 純子	Heritage Conservation Practice and Challenges in Bhutan	ブータン王立大学科学技術カレッジ建築学科第 4・5 学年対象特別講義	2024 年 10 月
69.	向井 純子	スキルアップ講座について（文化遺産の多様性と沖縄県の文化遺産）	沖縄県ヘリテージマネージャー・スキルアップ講座	2024 年 11 月
70.	吉富 信太	令和 6 年能登半島地震による伝統的地区・建物の被害について	立命館大学防災フロンティア研究センター2024 年度第 1 回セミナー	2024 年 8 月
71.	吉富 信太	Earthquake disaster prevention for Japanese traditional buildings	INNOVATIONS AND BEST PRACTICES IN PREVENTION AND PREPAREDNESS AND RELATED DISPLACEMENT SYMPOSIUM	2024 年 12 月
72.	李 敏	An Early Fire Signal Sharing System for Fire Prevention Based on Resident and	UNITAR EWS Training Program: Rapid response to climate crises through Early Warning	2024 年 11 月

		Community Characteristics in Preserved Historic District/Village in Japan	Systems	
73.	石田優子	文化遺産の防災～熊野古道を南海トラフ地震から護る～	近畿大学工業高等専門学校 令和6年度第1回市民公開講座	2024年6月22日
74.	岩本葉子	「京都御苑旧次長官舎調査報告書」	大学共同利用機関法人人間文化研究機構「開かれた人間文化研究を目指した社会共創コミュニケーション事業」	2024年4月～ 2025年3月
75.	岡田篤正	国土地理院1:25,000活断層図の解説と成果	関西G空間フォーラムin神戸・兵庫県中央労働センター2階大ホール	2024年12月23日
76.	鈴木祥之	大念佛寺『令和の本堂大改修』記念連続講演会：伝統建築の耐震補強	融通念佛宗総本山大念佛寺	2024年4月
77.	鈴木祥之	2024年度立命館大学土曜講座：阪神・淡路大震災～戦後最大の地震被害～	歴史都市防災研究所	2025年1月
78.	鈴木祥之	伝統構法木造建築物耐震化マニュアル実践セミナー	高山市役所	2025年3月
79.	夏目 宗幸	歴史GISデータにおける質と可用性の問題：近世日本と現代中国の研究を事例として	九州大学大学院 人文情報連係学府 学際シンポジウムシリーズ「接続する人文学」	2024年8月1日
80.	前田一馬	連載「軽井沢論⑨」 グリーンホテル〈今はなき軽井沢の風景④〉	『軽井沢ヴィネット』 136号 110-111	
81.	Lata Shakya	Commentator for Session 3 (Baha Bahi of Kathmandu Valley)	A Conference on Newah Heritage, organized by the World Newah Organization (Online)	2024年8月10日～2024年8月11日
82.	Lata Shakya	Facilitator for the Workshop with Owners (right holders) on Restoration of “De Pukhu Chhen”	Workshop for the conservation of historic settlement in Kirtipur, Kirtipur Municipality, Nepal	2024年12月26日
83.	松田 彰	京、まち、歩く！ レポート	自主HP「コンパス BOARD」	2024. 4. 1 ～ 2025. 3. 31

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1	阿部 俊彦	日本工学教育協会	工学教育賞 業績部門	建築系まちづくりファシリテーター養成講座の開発と実践	2024年3月
2	阿部 俊彦	日本建築学会	教育賞(教育貢献)	建築系まちづくりファシリテーター養成講座の開発と実践	2024年5月
3	伊藤 真一	公益社団法人土木学会	令和6年度土木学会全国大会 優秀講演者賞		2024年11月
4	豊田 祐輔	科学技術融合振興財団 (FOST)	FOST 賞	地域知と若者知の融合による事前復旧・復興構想策定手法としてのゲーミング・シミュレーションの有効性に関する研究	2025年3月
5	深川 良一	地盤工学会	名誉会員	地盤工学に係る顕著な業績および長年の学会活動に対する貢献	2024年5月
6	青木和人	一般社団法人地理情報システム学会	2024年度学会賞、著作部門	著作「はじめての地理院地図」	2024年10月
7	青木和人	公益財団法人 統計情報研究開発センター	公益財団法人 統計情報研究開発セ	『著書の出版、教育活動、統計と情報の専門誌「エス	2025年3月

			ンター	トレーラ」での長期連載による統計 GIS の普及』	
8	山崎文雄	日本地震工学会	論文賞	2016 年熊本地震における広範囲の地震動強さに対応した複数自治体の罹災証明データに基づく建物被害関数の構築	2024 年 5 月

7. 科学研究費助成事業（科研費）						
No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	花岡和聖	センサスデータを用いたオーストラリアにおける移民の地方定住に関する地理学的研究	基盤研究(C)（一般）	2022 年 4 月	2026 年 3 月	代表
2	大窪健之	火災から木造文化都市を守る歴史的な水利環境の再生に関する研究	基盤研究(B)（一般）	2022 年 4 月	2025 年 3 月	代表
3	阿部俊彦	シナリオプランニングを用いたまちづくりワークショップ手法と情報データベースの開発	若手研究	2022 年 4 月	2025 年 3 月	代表
4	寺床幸雄	農山村の防災・減災に向けた地域類型と地域内知識に関する基礎的研究	若手研究	2022 年 4 月	2025 年 3 月	代表
5	本間睦朗	建築における光の扱い方の、建築様式との関連に関する研究	基盤研究(C)（一般）	2022 年 4 月	2025 年 3 月	代表
6	吉富信太	建築構造物の部分損傷推定のための多チャンネル振動計測による逆問題手法の構築	基盤研究(B)（一般）	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
7	山田悟史	深層学習を基盤とするコンテンツ生成型 A I と人間の共創	基盤研究(C)（一般）	2023 年 4 月	2027 年 3 月	代表
8	大場修	「戦後民家学」構築のための実証的研究	挑戦的研究（萌芽）	2024 年 6 月	2026 年 3 月	代表
9	林祐妃	画像認識を用いた土壌孔隙径分布の計測による土壌水分特性の特定	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表
10	山本理佳	現代のヘリテージ化における観光の影響に関する研究—近代産業遺産を事例に—	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表
11	石原凌河	家庭・地域社会との連携を効果的に促す学校防災教育モデルの構築	基盤研究(C)	2022 年 4 月	2026 年 3 月	代表
12	石原凌河	COVID-19 とデジタルネイティブ世代：多言語による語りの収集と分析	基盤研究(B)	2022 年 4 月	2026 年 3 月	分担
13	石原凌河	災害時の行政との協働における非営利組織の主体性維持に関する研究	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	分担
14	岩本葉子	近世近代移行期の都市における土地所有実態の解明 京都の藩邸処分を事例に	研究活動スタート支援	2023 年 8 月	2025 年 3 月	代表
15	桐村 喬	不完全空間情報による空間推論のためのツールボックスの開発と応用	基盤研究(A)	2022 年 4 月	2027 年 3 月	分担
16	桐村 喬	3 次元的な視点からみた高度成長期以降の大都市圏における居住分化の変容過程	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
17	前田一馬	高原の誕生—近現代の日本における新たな風景の発見—	若手研究	2023 年 4 月	2025 年 3 月	代表
18	サキヤ ラタ	ネパールの歴史都市における地域資源を活用した災害対応マネジメントに関する研究	若手研究	2021 年 4 月	2025 年 3 月	代表

8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）
--

No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1	大場 修	阿智村・駒場地区 集落町並み形成の歴史と現在に関する調査研究	阿智村役場 受託研究	2024年9月	2025年3月	代表
2	里深 好文 藤本 将光	水理模型実験によるコンクリートブロック堰堤の透水機能と性能に関する考察	共和コンクリート 受託研究	2024年9月	2025年3月	代表
3	大窪 健之 金 度源	加悦天満神社本殿の防火マニュアル作成および住民による文化財保護と防災活動の取組み支援	与謝野町 受託研究	2024 年 10 月	2025年3月	代表
4	金 度源	文化遺産防災における国際的な研修事業の e-Learning システム構築	放送大学教育振興会助成金	2024年7月	2025年3月	代表
5	花岡 和聖	なみえまちあるき～こどもたちが主役の復興まちづくり～	公益財団法人セコム科学技術振興財団	2025年2月	2025 年 11 月	代表
6	伊藤 真一	教育研究助成の為	中電技術コンサルタント 奨学寄付寄附金	2024年6月	2025年3月	代表
7	吉富 信太	教育研究助成の為	株式会社オーク 奨学寄附金	2024年6月	2025年3月	代表
8	深川 良一	教育研究助成の為	株式会社 KFC 奨学寄附金	2024 年 12 月	2025年3月	代表
9	藤本 将光	教育研究助成の為	ヒロセ補強土株式会社 奨学寄附金	2025年1月	2025年3月	代表
10	矢野 桂司	教育研究助成の為	マチュールライフ 奨学寄附金	2024 年 11 月	2025年3月	代表

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録 (特許) 番号	国
1	大窪 健之	地域防災情報システム	本学共同者	その他				日本
2	大窪 健之	消火用ノズル	本学共同者	筆 頭 発 明 者				日本
3	福水 洋平	二値情報を読み取る読取方法, コンピュータ、及びコンピュータプログラム	本学単独	その他	特 願 2023-107536	特開 2023-115326	7504508	日本
4	藤本 将光	透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
5	藤本 将光	土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本
6	本間 睦朗	直接光有無判断装置、電動ブラインドの制御装置、直射光有無判断方法及び電動ブラインドの制御方法	本学以外	筆 頭 発 明 者				日本